みんなの　あしたに　ハッピーを

Coca-Cola West

工場見学のご案内

地域における学習の場、楽しみの場を創造し、お客さまとのふれあいを実現するために工場見学を実施しています。

❶京都工場（京都府）



所在地　京都府久世郡久御山町田井新荒見128
電話　0774-43-5522
受付時間　9:30～11:30、12:30～17:00
休館日　毎週月曜日（但し、第一月曜日、祝日・振替休日除く）年末年始、工場製造ライン運休日および臨時休館日
所要時間　約90分
受入可能人数　定員50名

❷本郷工場（広島県）



所在地　広島県三原市下北方一丁目3番1号
電話　0848-86-3600
受付時間　土・日・祝日以外の8:30～17:00
休館日　土・日・月・祝日
所要時間　約60分
受入可能人数　定員20～80名

❸鳥栖工場（佐賀県）



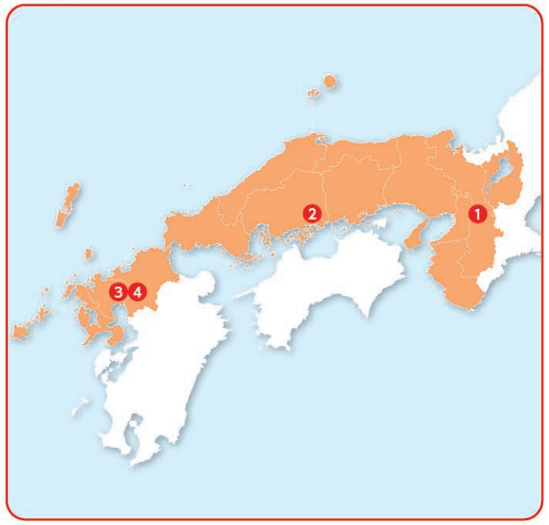
所在地　佐賀県鳥栖市轟木町二本松1670番地2
電話　0942-82-5141
受付時間　土・日・祝日以外の8:30～17:00
休館日　土・日・月・祝日
所要時間　約60分
受入可能人数　定員80名

❹基山工場（佐賀県）



所在地　佐賀県三養基郡基山町大字長野380番地16
電話　0942-92-5251
受付時間　土・日・祝日以外の8:30～17:00
休館日　土・日・月・祝日
所要時間　約60分
受入可能人数　定員80名

■所在地マップ



コカ・コーラウエスト株式会社
（コカ・コーラ 指定会社）

お問い合わせ：CSR統括部　CSR推進部
TEL 092-641-8782　FAX 092-641-9128
http://www.ccwest.co.jp/

FSC www.fsc.org　ミックス　責任ある木質資源を使用した紙　FSC® C014687

適切に管理された森林から調達された木材を原料としたFSC®認証紙を使うことで森林保護に貢献しています。

VEGETABLE OIL INK

大気汚染の原因となるVOC（揮発性有機化合物）の発生を減らすため、印刷インキは植物性のインキを使用しています。

コカ・コーラウエストグループ
CSRレポート 2012
Corporate Social Responsibility Report 2012



みんなの あしたに ハッピーを



食事と一緒に飲む「コカ・コーラ」、
お仕事中に一息つく「ジョージア」、
スポーツの後にのどを潤す「アクエリアス」、
美味しさと安心の潤いを与えてくれる
「い・ろ・は・す」や「爽健美茶」。
私たちコカ・コーラウエストグループは、
飲料を通じて価値ある「商品、サービス」をご提供し、
ステークホルダーの皆さまに、
「ハッピー」をお届けしたいと考えています。

会社概要

商号	コカ・コーラウエスト株式会社〈コカ・コーラ指定会社〉 (英文:COCA-COLA WEST COMPANY,LIMITED)
事業内容	コカ・コーラ等清涼飲料水の製造・販売
設立	1960年(昭和35年)12月20日
決算期	12月
資本金	15,231百万円
代表者	代表取締役社長　吉松　民雄
売上高	399,717百万円(連結)
社員数	7,916名(連結)、2,618名(単体) ※2012年1月1日現在
上場取引所	株式会社東京証券取引所(市場第一部) 株式会社大阪証券取引所(市場第一部) 証券会員制法人 福岡証券取引所

報告範囲

対象期間	2011年1月1日～2011年12月31日(一部過去と直近の情報含む)
対象会社	11社(キューサイ株式会社除く)
発行	2012年4月(次回発行は2013年4月予定)
参考ガイドライン	GRI「サステナビリティ レポーティング ガイドライン 2011」 環境省「環境報告ガイドライン2007年版」

CONTENTS

トップメッセージ …… P3
コカ・コーラウエストグループのCSR …… P5
「CSR」の7つの重点項目 …… P7
コカ・コーラウエストグループ紹介 …… P9
〈特集1〉おいしい水をお客さまにお届けしたい …… P11
〈特集2〉「お客さまに信頼される」人材を目指して …… P13
〈特集3〉地域の発展のために、自動販売機ができること …… P15
〈特集4〉商品に使用した量と同等量の「水」を自然に還元したい …… P17
〈第1章〉誠実な企業活動
❶お客さま満足 …… P19
❷品質保証 …… P23
❸コンプライアンス …… P25
❹リスク管理 …… P27
〈第2章〉人間尊重
❺人権尊重と社員の働きがい …… P29
〈第3章〉社会との共生
❻地域社会との共生(地域社会貢献活動) …… P31
〈第4章〉環境との調和
❼環境推進 …… P37
[特別報告]東日本大震災を受けて …… P44
第三者コメント …… P45
マジカルエコラのファクトリーツアー …… P46



はじめに

コカ･コーラウエストグループは、企業理念『飲料を通じて価値ある「商品、サービス」を提供することで、お客さまのハッピーでいきいきとしたライフスタイルと持続可能な社会の発展に貢献します』のもと、「みんなの あしたに ハッピーを」を企業メッセージとして、あらゆるステークホルダーの皆さまに「ハッピー」を提供していく活動を実施しています。
現在、コカ･コーラウエストグループは、2020年までの長期経営構想、およびその第1ステップである2011年から2013年までを「革新と成長の3年」とする中期経営計画を策定し、ザ コカ･コーラカンパニーの支援のもと、新たなお客さま起点の「ビジネスモデルの変革」に取り組み、将来にわたって成長し続けることのできる基盤づくりを進めています。

私たちの使命

コカ･コーラウエストグループは、企業市民として着実に社会的責任を果たし続ける企業を目指しています。

昨年の東日本大震災では、大地震や大津波による被害に加えて、原発問題による放射能汚染･電力不足等、日本に大きな爪あとを残しました。
私たちは東日本大震災を機に、あらためて企業市民として、地域社会との共生をはかることの重要性を再認識するとともに、これからも日々の活動を通じてステークホルダーの皆さまに「ハッピー」をお届けしていくことを誓います。

当社のCSRの基本的な考え方と7つの重点項目

私たちは、ウエストビジョンに示された「お客さまに愛され、株主･地域社会に愛され、社員が愛する会社」を実現するために、『誠実な企業活動』、『人間尊重』、『社会との共生』、『環境との調和』の4つの基本的な考え方からCSRに取り組みます。
『誠実な企業活動』として「お客さま満足」「品質保証」「コンプライアンス」「リスク管理」を、『人間尊重』として「人権尊重と社員の働きがい」を、『社会との共生』として「地域社会との共生」を、『環境との調和』として「環境推進」を重点項目に掲げ、事業活動を行ってまいります。

最後に

今回のCSRレポートでは、「品質への取り組み」「社員の働きがい」「地域社会貢献活動」「環境への取り組み」を特集して紹介するとともに、7つの重点項目を中心としたCSR活動への積極的な取り組みについてご紹介します。
私たちは、皆さまにより一層喜んでいただける商品･サービスの提供や、地球環境保全、地域社会との共生等、さまざまな取り組みを行うことで、お客さまに愛され、株主･地域社会に愛され、社員が愛する会社として成長してまいります。

コカ･コーラウエスト株式会社
代表取締役社長

吉松民雄

企業理念

飲料を通じて
価値ある「商品、サービス」を提供することで、
お客さまの
ハッピーでいきいきとしたライフスタイルと
持続可能な社会の発展に
貢献します。

コカ・コーラウエストグループのCSR

● CSR(Corporate Social Responsibility):企業の社会的責任

企業メッセージである「みんなの あしたに ハッピーを」
この実現に向け、持続的な成長を果たすための指針として「長期経営構想 2020」を策定しています。
コカ・コーラウエストグループでは、持続可能な社会の発展とステークホルダーの皆さまにハッピーを提供していく上で、
CSRの取り組みを最も重要な経営課題の一つと位置づけ、4つの基本的な考え方のもと7つの重点項目に取り組んでおります。

2020年に向けた全体構造

企業メッセージ:みんなの あしたに ハッピーを Coca-Cola West

企業理念

行動指針

経営の基本スタンス

長期経営構想 2020

ウエストビジョン

お客さまに愛され、
株主・地域社会に愛され、
社員が愛する会社へ!!

成長目標
- 売上高 :5,100 億円
- 営業利益: 350 億円

長期戦略
成長戦略 / 効率化戦略
構造戦略

ザ コカ・コーラ カンパニー 2020 VISION※

PROFIT(プロフィット)
- 売上、利益拡大

PEOPLE(ピープル)
- 働きがい

PORTFOLIO(ポートフォリオ)
- 商品群

PARTNERS(パートナー)
- カスタマー

PLANET(プラネット)
- 環境、地域社会

PRODUCTIVITY(プロダクティビティー)
- 生産性、効率

※ザ コカ・コーラ カンパニー 2020 VISION: コカ・コーラシステムの使命である「世界中をさわやかにし、前向きになれる幸せな瞬間を提供し、価値を創造し変化をもたらすこと」を通じてザ コカ・コーラ カンパニーとボトラー社が共に成長するためのロードマップ(優先順位)



CSRの考え方

4つの基本的な考え方と
7つの重点項目

お客さまのあしたにハッピーを!

方針1 誠実な企業活動

重点項目
- ❶お客さま満足
- ❷品質保証
- ❸コンプライアンス
- ❹リスク管理

P19へ

社員のあしたにハッピーを!

方針2 人間尊重

重点項目
- ❺人権尊重と社員の働きがい

P29へ

地域のあしたにハッピーを!

方針3 社会との共生

重点項目
- ❻地域社会との共生(地域社会貢献活動)

P31へ

地球のあしたにハッピーを!

方針4 環境との調和

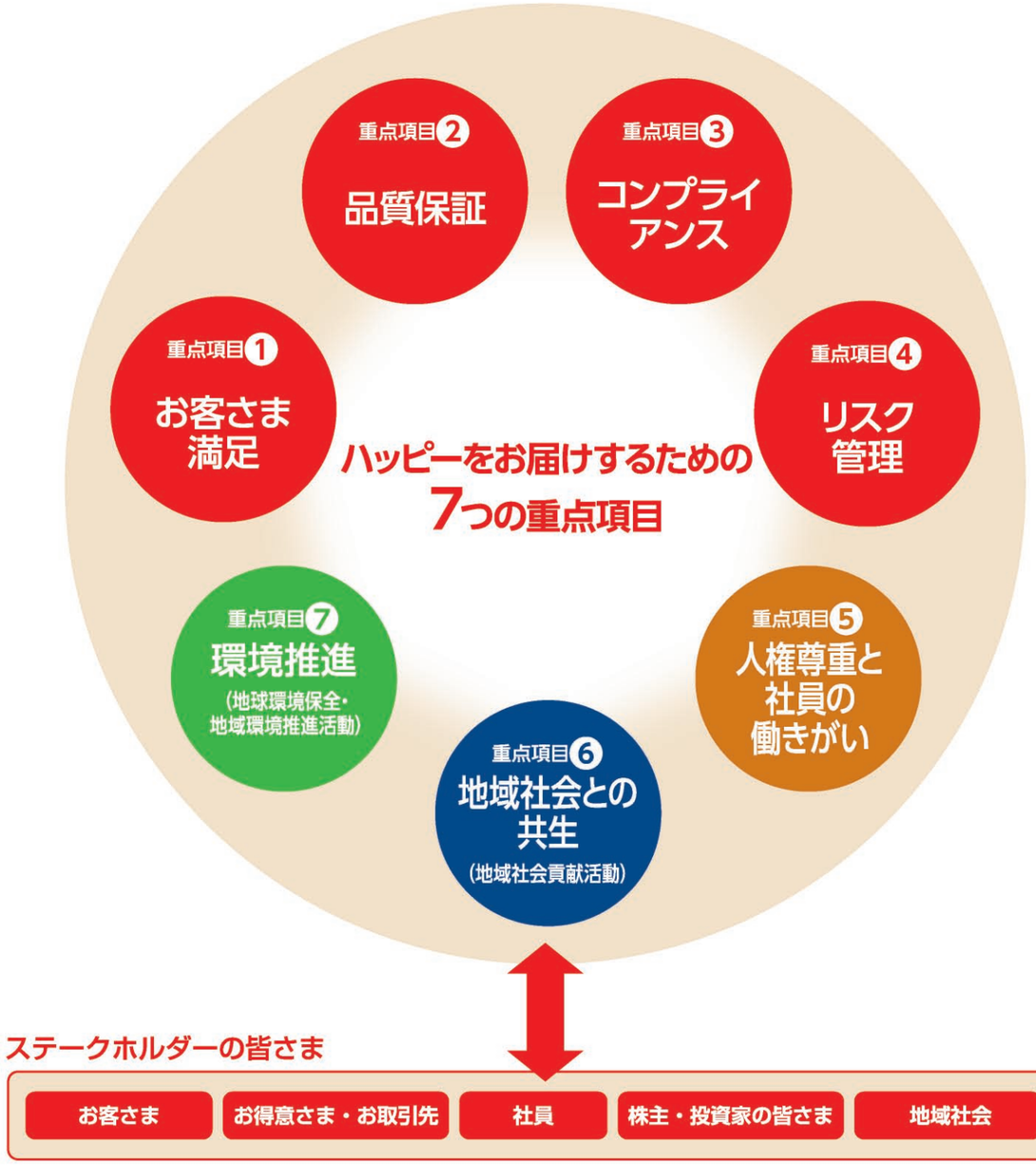
重点項目
- ❼環境推進

P37へ

企業メッセージ みんなの あしたに ハッピーを

「CSR」の7つの重点項目

コカ･コーラウエストグループは「7つの重点項目」を中心にCSR活動に取り組み、持続可能な社会の実現および、お客さまのあした、社員のあした、地域社会のあした、地球環境のあしたに「ハッピー」をお届けします。



基本的な考え方	7つの重点項目	目指す姿
誠実な企業活動	重点項目1 お客さま満足	●価値ある商品・サービスを提供するため、安全・安心で優れた品質であることはもちろんのこと、お客さまの新しいニーズを発見しつづけ、絶え間のない革新によってお客さまの期待を上回る価値ある「商品・サービス」を提供する。
	重点項目2 品質保証	●調達からお客さまのお手元に商品が届くまでの各過程において、社員一人ひとりが「品質」を最優先に取り組み、常に安全・安心・フレッシュな商品を提供する。
	重点項目3 コンプライアンス	●すべての法令の遵守はもちろんのこと、社会的責任の視点と良識をもって誠実に行動する。 ●経営の効率化、透明性向上に取り組むことで、すべてのステークホルダーからの信頼を得る。
	重点項目4 リスク管理	●会社が抱えるさまざまなリスクに対して発生を予防するとともに、万一、発生した場合に被害を最小化するための行動が迅速・的確にとれるリスクに強い会社を目指す。
人間尊重	重点項目5 人権尊重と社員の働きがい	●一人ひとりが自らの人権だけでなく、他の人権についても正しく理解し、相互に人権を尊重しあい、その共存を図る。 ●社員と会社の強い信頼関係のもと、社員が仕事を通じて働きがいと誇りを持てる会社を目指す。
社会との共生	重点項目6 地域社会との共生 (地域社会貢献活動)	●「地域とともに」の基本姿勢のもと、地域社会との共生・共栄を強く意識し、地域社会の発展に貢献する。
環境との調和	重点項目7 環境推進 (地球環境保全・地域環境推進活動)	●事業の成長と環境負荷低減を両立する「地球環境保全」と地域社会における自然環境保全や環境啓発を推進する「地域環境推進活動」の2つの活動を通じて、「環境先進モデル企業」となる。

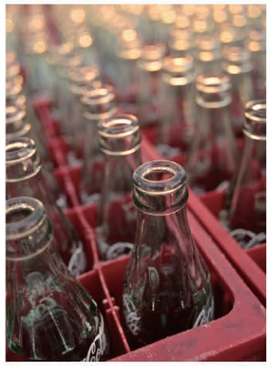
コカ･コーラウエストグループのCSRの取り組みは、ザ コカ･コーラカンパニーが掲げる持続可能性に着目した世界共通の事業指針「Live Positively（リブ・ポジティブリー）」の実現にも繋がるものです。

コカ・コーラウエストグループ　紹介

私たちは、日本のコカ・コーラシステムをリードする日本最大のボトラー社です

コカ・コーラウエストグループは、飲料事業を中心に
2府12県に展開する日本を代表するボトラー社の1つです。
「お客さまに価値ある商品とサービスをお届けしたい」という
ひとつの想いを胸に、高品質のサービスを提供しています。







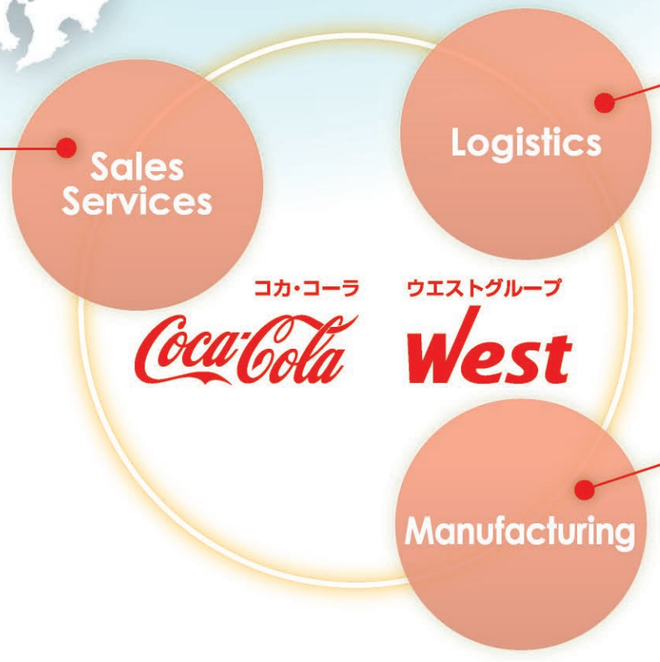
コカ・コーラウエスト株式会社

福岡県／大阪府／滋賀県／奈良県／和歌山県／京都府／兵庫県／
岡山県／鳥取県／広島県／島根県／山口県／佐賀県／長崎県

●本社 …… 福岡市東区箱崎七丁目9番66号
●千里丘オフィス……大阪府摂津市千里丘七丁目9番31号

日本のコカ・コーラシステム

日本のコカ・コーラシステムは、原液の供給や商品の企画開発等の
マーケティング活動を行う日本コカ・コーラ（株）と、各地域で商品の
製造・販売を行う12のボトラー社や関連会社等で構成されています。



販売機能会社

自動販売機ビジネス関連業務等を行う販売機能各社は、お客さまに
1本でも多く飲んでいただくために質の高いサービスを提供し、新鮮で
さわやかなおいしさをお届けしています。

●**コカ・コーラウエストベンディング株式会社**
自動販売機のオペレーション事業および営業支店内勤業務に関する事業
●**西日本ビバレッジ株式会社**
自動販売機による清涼飲料水、食品等の販売およびオフィス用コーヒーの販売
●**コカ・コーラウエストリテールサービス株式会社**
飲料の配送事業
●**株式会社カディアック**
関西国際空港内での自動販売機のオペレーション事業
●**株式会社ウエックス**
飲料水、食品等の自動販売機オペレーション事業
●**コカ・コーラウエスト販売機器サービス株式会社**
自動販売機の設置・メンテナンス事業

SCM機能会社

SCM機能会社は最高の品質を維持するために、1本1本の商品に対し厳しい
品質管理のもと製造し、新鮮で安全な商品をより早くお届けすることで、より
多くのお客さまに飲んでいただけるよう、高品質のサービスを提供しています。

●**コカ・コーラウエストロジスティクス株式会社**
飲料等の配送事業
●**コカ・コーラウエストプロダクツ株式会社**
飲料の製造事業
●**コカ・コーラウエスト大山プロダクツ株式会社**
飲料（ミネラルウォーター）の製造事業

その他グループ会社

●**コカ・コーラウエストサービス株式会社**
不動産の賃貸、売買、仲介および管理事業ならびに保険代理業
●**キューサイ株式会社**
健康食品・健康関連商品の製造販売



「お客さま」のあしたにハッピーを

おいしい水をお客さまにお届けしたい

コカ・コーラウエスト大山プロダクツ(株)の取り組み

コカ・コーラウエスト大山プロダクツ(株)大山工場はナチュラルミネラルウォーター専用工場として、「い・ろ・は・す(フレーバーウォーター含む)」や「森の水だより」を製造しています。
大山工場では、お客さまに安心して飲んでいただける安全な商品を製造するために、「KORE(コア)」と呼ばれるコカ・コーラシステム独自で定めた世界共通のマネジメントシステムでオペレーション管理を行っています。また、アセプティック(無菌)充填ラインによって微生物の混入を防ぐ等、非常に清潔で安全な環境で製造するとともに、社内で資格認定された検査員による官能検査や外観検査等を行い、徹底した品質管理を行っています。

HAPPY VOICE ステークホルダー

一緒になって、豊かな環境を守りたい



三菱重工食品包装機械株式会社
営業グループ課長 楯 将博さま

大山工場は自然豊かで地下水に恵まれた大山の麓に立地しております。自然や地下水は我々の大切な資産です。我々も設備メーカーとして、大山工場と協働してその資産を守り、安心な商品を製造していく義務があると考えています。これからも、自然との絆を大切にしていきます。

KORE(Coca-Cola Operating Requirement)とは

コカ・コーラ社商品のライフスタイル全体(調達、製造、物流、輸送、販売、回収、リサイクル)に亘る「品質」「食品安全」「環境」「労働安全衛生」の4側面に関する基準を網羅したシステムで、国際規格であるISOや各種法令の要求事項を満たしつつ、さらに厳しい基準を自らに課す内容となっています。

KOREマネジメントシステムを支える4つの側面

品質　食品安全　環境　労働安全衛生

コカ・コーラウエスト大山プロダクツ(株)概要			
事業内容	ミネラルウォーター商品の製造	敷地面積	約6万5千㎡(約2万坪)
設　立	2002年5月15日	製造能力	2000ml　330本/1分間 1020ml　360本/1分間 555ml　600本/1分間 280ml　600本/1分間
所在地	鳥取県西伯郡伯耆町金屋谷306番地1		
従業員数	60名		

「KORE」の4つの側面の取り組み

HAPPY VOICE 品質

品質に高い意識を持って生産業務を行っています



コカ・コーラウエスト大山プロダクツ(株)
製造課 担当課長 小川 達也

日々の製造を行うにあたり、次工程へ高品質な商品を供給し続けることを念頭に置き、管理しています。商品の細部まで気を配り、ラインコントロールすること、それが最終的にはお客さまのハッピーにつながると信じています。

HAPPY VOICE 環境

水・エネルギー使用量削減により環境影響の最小化に努めます



コカ・コーラウエスト大山プロダクツ(株)
生産管理課 野村 義之

私たちを育んでいる素晴らしい環境を持続させるため、工場で容器の殺菌等に使用したすべての水は、排水設備にて適切に処理し、法令やKOREの基準値を遵守し、自然に還元しています。

HAPPY VOICE 食品安全

工程管理の徹底により安全な商品を提供します



コカ・コーラウエスト大山プロダクツ(株)
品質管理課 金田 謙二

私たちは、お客さまに安全・安心な商品を提供するため、各工程における重要ポイントを確実に把握し、日々の生産業務において商品管理を徹底しています。

HAPPY VOICE 労働安全衛生

社員の健康を守り、安全な職場環境を追求します



コカ・コーラウエスト大山プロダクツ(株)
総務課 担当課長 薄井 正朗

工場の労働安全衛生レベル向上を図るため、労災情報の社内展開による改善、適切で安全な作業環境を保持するための環境測定及び構内パトロールを実施しています。今後も労災"0"を継続すべく工場全体で取り組んでいきます。









「社員」のあしたにハッピーを

「お客さまに信頼される」人材を目指して

Coca-Cola West Group『W' ing College』(コカ・コーラウエストグループ ウィング カレッジ)

『W' ing College』とは、各階層に応じたビジネス能力を取得することを狙った社内スクールです。『W' ing College』では、上位資格要件を充足することを目的とし、管理職層以上を対象とする“経営塾”と、リーダー職層以下を対象とした“ビジネススクール”の2つのスクールで構成され、体系的にキャリア形成を進める仕組みとして運営しています。

経営塾



“経営塾”は人材育成コンセプトにおけるサクセッションプラン(後継者育成計画)の重要な要素の1つとして位置づけています。
経営職層や管理職層へ向けたコースとして『エグゼクティブコース』、『シニアマネジメントコース』があります。

ビジネススクール



“ビジネススクール”は、上位資格要件を充足することを目的としていますが、あくまで自己啓発として位置づけています。次期管理層や次期リーダー層を育成するコースとして『ミドルマネジメントコース』、『ジュニアマネジメントコース』があります。

人材育成

コカ・コーラウエストグループでは、すべての社員一人ひとりが“お客さまに信頼される人材”となることを目指しています。職場における日々のOJL(On The Job-Learning)と知識やスキルを学ぶOff-JLを通じて社員が自ら学び、成長していくための育成の場を個人のキャリアステップに応じて体系的に提供しています。

●人材育成プログラム

		スタッフ	リーダー	マネジメント	エグゼクティブ
OFF-JL	必須研修	新入社員研修 / 3年目研修		所属長研修	部門長研修
		人権研修			
	階層別研修	～Coca-Cola West Group「W'ing College」～			
		ビジネススクール ジュニアマネジメントコース	ビジネススクール ミドルマネジメントコース	経営塾 シニアマネジメントコース	経営塾 エグゼクティブコース
	自己啓発	通信教育			
		社内オープンセミナー、社外セミナー			
	専門教育	機能別技術研修			
OJL		職場における課題解決を通じた学び			

HAPPY VOICE 受講者

コカ・コーラウエストの社員である誇りを持ち、明日を切りひらくことができるリーダーへ

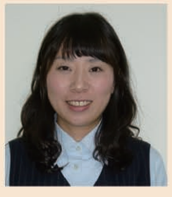


コカ・コーラウエスト(株)
ベンディング伊丹支店
永山 雅裕

企業理念を正しく理解し、マネージャーに必要なスキルと判断力の習得を目的とした集合研修でした。各所属から同じ目的をもった受講生とケースワーク、グループワークを通じてリーダーとして社員そしてお客さまのハッピーをいかに実現するかについて学んできました。まだまだステップアップの途中ですが、まわりに良い影響を及ぼし明日を考えられるリーダーに成長し、お客さま、株主、地域社会より愛される企業を目指します。

HAPPY VOICE 受講者

今後の自分の活動の基軸になりました



コカ・コーラウエスト販売機器サービス(株)
福岡コールセンター
高田 麻耶子

今回の研修を通じて、企業活動や財務・マーケティング等のビジネスの基本知識を学習することで、自分自身に不足している部分を明確にすることができ、リーダーを目指す上で自ら何をしなければいけないかを考える良い機会となりました。またグループディスカッションでは、それぞれ異なるグループ会社のメンバーの方々と日常活動等の意見交換を交えながらコミュニケーションを図ることで今後の活動の基軸になりました。



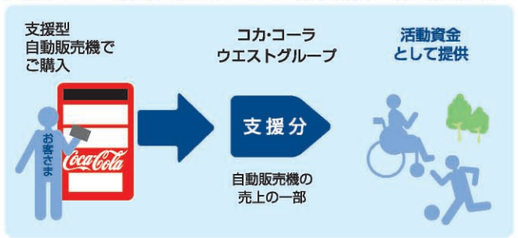
「地域」のあしたにハッピーを

地域の発展のために、自動販売機ができること

支援型自動販売機

支援型自動販売機は、売上の一部を地域の社会貢献事業やイベント、スポーツ団体の活動資金として還元し、お客さまとともに地域社会を支援していく活動です。
2011年12月末時点で、累計台数は3,561台になりました。

支援型自動販売機による地域支援活動の仕組み



活動事例 まちづくり支援

笑働OSAKA支援自動販売機

2011年11月、「笑働OSAKA支援自動販売機」を設置しました。この自動販売機は、大阪府の土木事務局が進めている地域でのイベントや社会貢献活動をPRし、地域の皆さまで活動を支えあうために立ち上げた支援型自動販売機です。売上の一部は、『地域いきいきネット』を通して地域の活動に活かされています。



HAPPY VOICE ステークホルダー

「笑働」の輪を広げたい



大阪府都市整備部事業管理室防災環境グループ
副主査　梶間 千晶さま

多岐に渡る協働の根源は「笑顔になること」「笑顔にすること」と捉え、協働するひとに感謝を表すことも含めて「笑働」とネーミングし、そのコンセプトをさまざまなひとに訴え、一人ひとりの行動の変化を促します。
この自動販売機によって、人、地域、公共がさらに連携し、「笑働」の輪が広がれば、と考えています。

支援型自動販売機事例紹介

プロスポーツ支援 自動販売機



INAC神戸レオネッサ支援自動販売機

その他の事例
ガンバ大阪
セレッソ大阪
サンフレッチェ広島
アビスパ福岡

観光支援 自動販売機

築上町観光支援自動販売機

その他の事例
淡路島まつり
しものせき観光

福祉支援 自動販売機

スペシャルオリンピックス日本(SON)奈良支援自動販売機

その他の事例
SON滋賀設立準備委員会
SON和歌山
SON大阪

環境支援 自動販売機

摂津市環境支援自動販売機

その他の事例
福岡市公園緑化
ニホンアワサンゴ環境保護・調査

商品を通じた社会貢献

オロオロを飲んで森林保護に参加しよう Love Forest!

コカ・コーラウエストでは、キャンペーン期間中(2011年11月1日～2012年1月31日)のOLO OLO(オロオロ)の販売本数1本につき1円を「社団法人兵庫県緑化推進協会『緑の募金』」へ寄付しました。



寄付金総額　808,728円

OLO OLO(オロオロ)について

おいしくってロハス。そんな地球にも嬉しい理想のドリンクを目指すOLO OLO(オロオロ)。こだわりの素材を、保存料や合成着色料を使用せずに仕上げ、パッケージは環境に配慮した紙容器を使用しています。"OLO OLO"のネーミングにはこんな気持ちが詰まっています。

NomigOLO(飲みごろ)
＋
EcOLOgy(エコロジー)



※OLO OLO(オロオロ)は、関西エリアの一部(大阪・神戸・京都・滋賀)での取り扱いとなっております。

「地球」のあしたにハッピーを

商品に使用した量と同等量の「水」を自然に還元したい

ウォーター・スチュワードシップ（水資源保護）活動

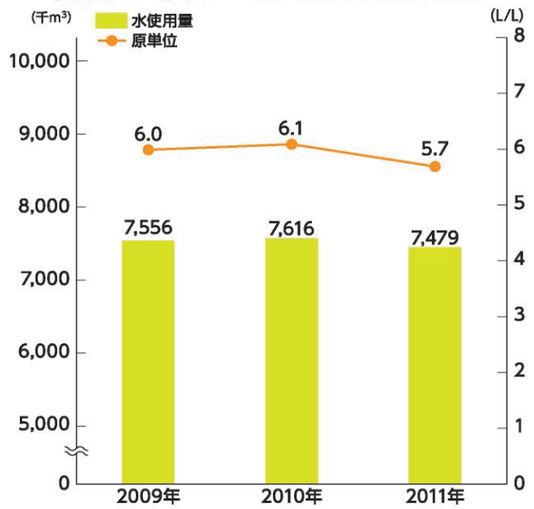
コカ・コーラシステムでは、清涼飲料を製造・販売する企業の社会的責任として、ウォーター・スチュワードシップ（水資源保護）活動を世界で展開しています。ウォーター・スチュワードシップは、地球の共有財産である水資源を守るため、水使用量の削減（Reduce リデュース）・水の循環（Recycle リサイクル）・地域の水源涵養（Replenish リプレニッシュ）を推進する活動です。これら3つの活動を推進することにより、商品に使用した量と同等の水を自然に還元することを目指し、水資源の持続可能性に取り組んでいます。

また、ウォーター・スチュワードシップの一環として、工場の水源エリアを特定し、その脆弱性評価※の結果を基に「源水保護計画」を策定するソース・ウォータープロテクションに取り組んでいます。2011年は、天然水商品を製造している大山工場に引き続き、京都工場、明石工場にて実施し、2012年中に全工場で同計画を策定し、順次実行していきます。

水使用量の削減

コカ・コーラウエストグループでは、製造工程における水の有効利用に取り組んでいます。2011年は、全工場合計で前年比7%減の5.7L/Lとなりました。引き続き、製造時の水使用量の削減を進めていきます。

●水使用量と原単位※ ※商品1Lを製造するのに必要な水の使用量



※脆弱性（ぜいじゃくせい）評価：工場および工場周辺の流域における水量、水質、土地利用および地質についての調査に基づく評価

水の循環

製造時に使用した水を回収し、洗浄水や冷却水として循環利用しています。また、河川放流する排水については、規制値よりも厳しい自主基準値で管理しています。2011年の水質測定結果では、自主基準値を超過したものはありませんでした。

●工場の水処理フロー図



地域の水源涵養

地域の人々にとっての水は、生活に必要な資源です。地域社会との共存を目指す企業として、工場周辺の水源域の森林保全活動を積極的に実施するとともに、管理可能な森林の面積を拡大することにより水源涵養林※の保護に取り組んでいきます。

※水源涵養林（すいげんかんようりん）：雨や雪等の降水を土壌に貯留させ、河川への水の供給を調整する機能を持っている森林

HAPPY VOICE ステークホルダー

大切な水を未来へ届けたい

鳥取県西部総合事務所 所長　林 昭男さま



大山の恵み『水』、私たちは地域の誇りとして大切にしています。
コカ・コーラウエストグループの皆さんと毎年取り組んでいる『さわやか自然の森』森林保全活動は、森林の水源涵養に大いに貢献しています。2013年春には、「とっとり花回廊」を会場に「第64回全国植樹祭」が開催されます。
これからも森林に親しみ、清水をもたらす豊かな森を大切に守っていく活動を共に進めていきたいと考えています。

重点項目❶

お客さま満足

**お客さまとのコミュニケーションを
大切にするとともに、
お客さまの声を重要な情報と捉え、
積極的に企業活動へ活かすことで、
お客さま満足の向上を図っています。**



基本方針

私たちコカ・コーラウエストグループは、お客さまのご満足実現を最優先すべき判断基準として位置づけ、企業活動を行ってまいります。
私たちは、お客さまの視点に立ち、お客さまの声を積極的に企業活動に活かすことで、常に「おいしさ」「便利さ」「楽しさ」「安心」を提供し続けると共に、更なるお客さまのご満足を徹底して追求します。

行動指針

- お客さまのお問合せ・ご指摘には、迅速かつ適切に誠意をもって対応します。
- お客さまに安心して飲んでいただける、安全な商品を提供します。
- お客さまの声を積極的にお聞きし、ニーズに合った新鮮で高品質の商品・サービスを提供し、より高いご満足が得られるよう、課題の解決、商品・サービスの改善に努めます。
- 社会に対する責任として、関係法令および社内の自主基準を遵守いたします。

HAPPY ACTION 1

3つの販売チャネルでの取り組み

お得意さまは、お客さま満足を実現するための重要なパートナーです。コカ・コーラウエストグループでは、販売チャネルごとに専門体制を整え、お得意さまと協働でさまざまな活動を行うとともに、社員一人ひとりが飲料のプロとして、お客さまに付加価値を提供することを目指しています。

①チェーンストアの取り組み

チェーンストアチャネルは、スーパーマーケット、ディスカウントストア等の量販店を担当しています。変化の著しい市場環境に対応できるよう、来店目的や購買動機等のお客さま動向を把握し、お得意さまの店舗特性に適した品揃えや販売促進策のご提案を実施しています。



活動事例

弊社の商品を通じてお客さまに楽しんでいただける演出や提案を行っています

買い物に来られるお客さまの72%は、店内で購買を決定されるといわれています。お客さまに、数ある商品の中から当社の商品を選んでいただきご満足いただくために、「コカ・コーラ」や「カナダドライ クラブソーダ」を使ったカクテルの提案、お弁当と「綾鷹」のセット提案、またイベントや季節の花を使用した売場演出等で、飲用シーンをイメージする提案を行っています。



桜の木を使った店舗での陳列

ACTION!

お客さまに好感をもっていただける応対を心がけています



お客さまにハッピーをお届けするために、お客さまとのコミュニケーションは非常に大切になります。
私たちの職場では、お客さまやお得意さまをはじめとして、あらゆる方々からのお電話に対して、会社の代表であるという「自覚」を持って電話応対に努めています。これからも声の表情を大切にし、好感をもっていただける応対を心がけ、お客さま満足の実現に向けて取り組んでまいります。

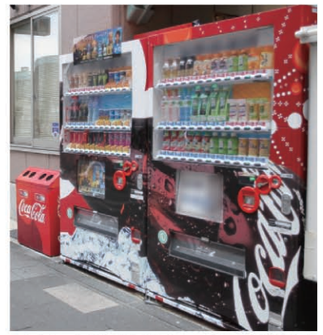
コカ・コーラウエスト販売機器サービス(株)
大阪コールセンター　鵜子 三佐衣

②ベンディングの取り組み

ベンディングチャネルは、自動販売機を通じたビジネスを展開しています。お客さまからの設置に関するご相談、ロケーションやご要望に応じたご提案をはじめ、自動販売機を設置いただいた後の飲料補充やメンテナンス等、自動販売機に関する全てのサービスを担当しています。
また、電子マネーへの対応や省エネ性能に優れた自動販売機、地域社会に貢献する自動販売機等を提供し、さまざまなお客さまのご要望にお応えいたします。



ソーラーパネル搭載型自動販売機「ecoる/ソーラー」



お客さまの要望にお応えしたラッピング自動販売機

活動事例

お得意さまのニーズを実現し、喜んでいただきたい

コカ・コーラウエスト(株)
ベンディング筑後支店　木下 圭一郎

昨年は東日本大震災の影響もあり、お得意さまから消費電力の削減についてのご相談を多くいただきました。レンゴー株式会社さまもその一つです。
そこで、省エネタイプの自動販売機への交換や全ての自動販売機の設置箇所を見直し、適材適所に設置しなおすことで消費電力を削減し、お得意さまのニーズにお応えすることができました。

HAPPY VOICE ステークホルダー

スッキリ配置とエコ対応 自動販売機で環境美化につながりました

レンゴー株式会社 中国・四国・九州事業部 鳥栖工場
工場長 小嶋 政嗣さま

昨年春の事務棟建て替えの際、総合提案として自動販売機を全て省エネ機種に交換していただき、自販機コーナーのレイアウト変更やリサイクルBOXの設置・回収の当番制をご提案・運用いただきました。環境面とコスト面が改善され感謝しています。



左:小嶋 政嗣さま
右:木下 圭一郎

③リテール・フードサービスの取り組み

【リテール】

リテールチャネルは、酒販店、食料品店や交通マーケット等の一般手売りマーケットを担当しています。多岐にわたる業種や業態の店舗ごとに、お客さまのニーズに応じた商品構成や販売に適した機材のご提案、各種広告物の提供を行い、お客さまに喜んでいただけるお店づくりのお手伝いをしています。



活動事例

高速道路SAをご利用されるお客さまにご満足いただける商品の品揃えを行っています

高速道路サービスエリアは、ご家族の行楽やバスツアーの団体さまからビジネスマンの方々まで、幅広いお客さまが利用されます。お客さまに快適なドライブを楽しんでいただくため、人気のある商品を中心に多様なパッケージをとり揃える等魅力的な売場づくりを行っています。



高速道路売店

【フードサービス】

フードサービスチャネルは、ファーストフード店・映画館・ファミリーレストラン・レジャー施設等のお得意さまを担当しています。定期的な訪問による緊密なコミュニケーションを図り、さまざまな売り方のご提案や衛生管理の徹底等、パートナーシップの強化に努めています。また、2010年より取り組んでいるHORECA※プロジェクトは、2012年はエリアを拡大して活動を行っています。

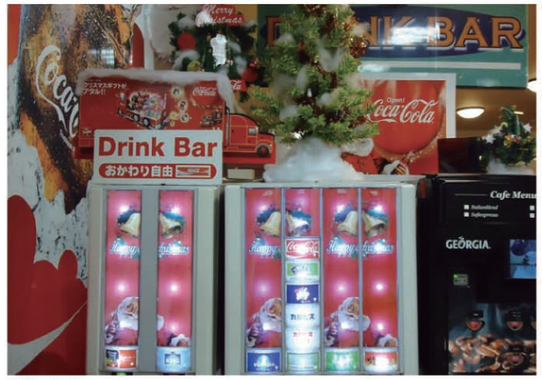
※HORECA：ホテル・レストラン・カフェの頭文字



活動事例

各業態や店舗にマッチした適切なセールスプログラムをご提案しています

フードサービスは業態ごとに利用されるお客さまが異なり、最新トレンドをとらえることが重要となります。
リピーターと話題性につながる販売促進策として、ドリンクバーやセットメニューの提案等の各種プログラムを業態や店舗に応じて行っています。



ドリンクバー

HAPPY ACTION 2 お客さま満足向上に向けた取り組み

コカ･コーラウエストグループでは、ISO10002※のPDCAサイクルによるお客さま満足の向上を目指しています。お客さまからいただいた声を積極的に企業活動に活かすことがお客さまのご満足の向上につながると考え、社内で共有し、安全で安心できる商品やサービスの提供に向け、改善活動に取り組んでいます。

● ISO10002 PDCA サイクル

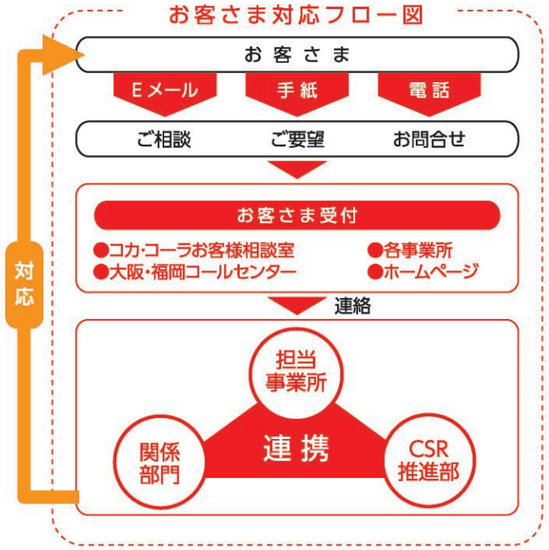


※ISO10002：ご指摘対応の基本原則やご指摘対応プロセスの手順を規定した国際規格

HAPPY ACTION 3 お客さまの声にお応えする取り組み

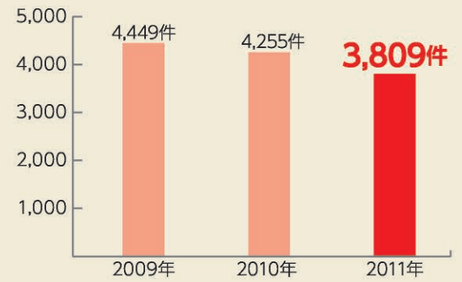
あらゆるお客さまからのご指摘やご要望、お問合せに対し、グループ全体で迅速かつ適切に対応できる体制を構築しています。単にお客さまの声にお応えするのではなく、コミュニケーションの最良の機会として積極的な対応を心がけています。

お客さま対応フロー図



商品に関わるご指摘件数

「お客さまからのご指摘は、商品・サービス改善のための大切な情報」と考え、ご指摘削減に向けた改善活動に活かしています。2011年は、約3,800件のご指摘をいただきました。



2011年自社調べ

商品に関するご意見・ご感想がある方は、日本コカ･コーラ(株)お客様相談室へ TEL 0120-308-509（サワヤカ コーク） 受付時間 午前9:30～午後5:00（土・日・祝日を除く）

重点項目❷

品質保証



調達から製造・販売まで、お客さまのお手元に商品が届くまでの各過程において、社員一人ひとりが「品質」を最優先に取り組み、常に安全・安心・フレッシュな商品の提供に努めています。

コカ・コーラウエストグループの品質への取り組みについて

コカ・コーラウエストグループでは、コカ・コーラシステムが独自に定めた世界共通の基準であるマネジメントシステム「KORE※1（コア）」のもと、厳格な品質管理体制を構築しています。製造工場における国際規格の認証取得（ISO9001※2、FSSC22000※3）をはじめ、工場出荷後の物流（保管、輸送）、販売においても商品の品質を維持し、高品質な商品をお客さまにお届けできるよう、品質管理を行っています。

※1 KORE…P11参照
※2 ISO9001：品質マネジメントシステム
※3 FSSC22000：食品安全マネジメントシステム

物流（倉庫）担当者 倉庫品質に妥協なし!

コカ・コーラウエストロジスティクス(株)
物流部 九州支店 九州物流センター
板崎 徹也



食品に携わる者にとって、安全・安心＝お客さまの笑顔です。「お待たせすることなく」「美味しいまま」「綺麗なまま」お客さまに商品をお届けすることを私達の役割・使命と考え、品質管理を行っています。今日も旧「ヨシ・ヨシ・ヨシ！」。

物流（輸送）担当者 商品にも人にも優しい運転を心掛けています

コカ・コーラウエストロジスティクス(株)
物流部 関西支店 輸送課
大竹 純



輸送時は、周りの方をお客さまと感じ、優しい運転を心がけています。また積込先や納入先の方とのコミュニケーションを大切にし、高品質な商品を笑顔とともにお届けすることに努めています。

店舗担当者 お客さまに新鮮な商品をお届けしたい

コカ・コーラウエストリテールサービス(株)
北九州・福岡営業所
熊本 祐二



私はお客さまに新鮮な商品をお届けするため、お得意さま店舗の在庫確認はもちろん、自動販売機内の商品の賞味期限や滞留期間を定期的に確認しています。

自動販売機オペレーション担当者 「オペレーションのプロ」として安全・安心をお届けしたい

コカ・コーラウエストベンディング(株)
広島営業所
大石 一成



私はお客さまのハッピーのために、安全・安心をお届けする活動として品質管理ルールを遵守し、「オペレーションのプロ」としてフレッシュネスを徹底しています。

衛生管理（QC）担当者 当社の商品を安心して飲んでいただきたい

コカ・コーラウエスト販売機器サービス(株)
千里丘フロントセンター
マスタートレーナー 眞子 明和

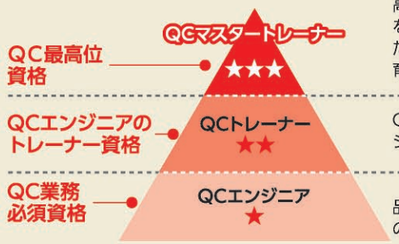


私は、「自分の家族にも安心して飲んでもらうことができるか」ということを常に意識して、ディスペンサーやカップ自動販売機の確実な品質管理活動に努めています。

QC※マスタートレーナー制度

ディスペンサーやカップ自動販売機は、販売機内でシロップやパウダーを商品にし、販売しているため、徹底した衛生管理が求められます。コカ・コーラウエストグループでは、独自の「社内認定制度」を設け、認定を受けた衛生管理担当者による品質管理を行っています。2012年3月末時点で、認定を受けているのは、マスタートレーナー6名、トレーナー35名、エンジニア77名です。

各資格階層の役割



※QC：クオリティ コントロール



重点項目❸

コンプライアンス



すべての法令の遵守はもちろんのこと、社会的責任の視点と良識をもって誠実に行動するとともに、経営の効率化、透明性向上に取り組むことで、すべてのステークホルダーから信頼いただける会社を目指しています。

コカ･コーラウエストグループ行動規範

私たちは、すべての法令を遵守するとともに、社会的良識をもって誠実に行動し、すべてのステークホルダーからの信頼を得ることで企業理念を実現します。

- **お客さまに対して**
  私たちは、常にお客さまの立場に立って行動し、お客さまのご満足を追求します。
- **お得意さまに対して**
  私たちは、お得意さまをお客さまのご満足を実現するためのパートナーとして大切にし、お互いの繁栄を目指します。
- **お取引先に対して**
  私たちは、お取引先との公正で対等な取引を通じ、お互いの共存をはかります。
- **社員に対して（会社と社員・社員間）**
  私たちは、職場のすべての人たちがいきいきと働くことができるように、お互いの考え方や立場を尊重します。
- **株主に対して**
  私たちは、健全かつ透明性のある経営に努め、企業価値を高めます。
- **社会に対して**
  私たちは、企業市民として社会的な責任を果たし、より豊かな社会の実現に貢献します。

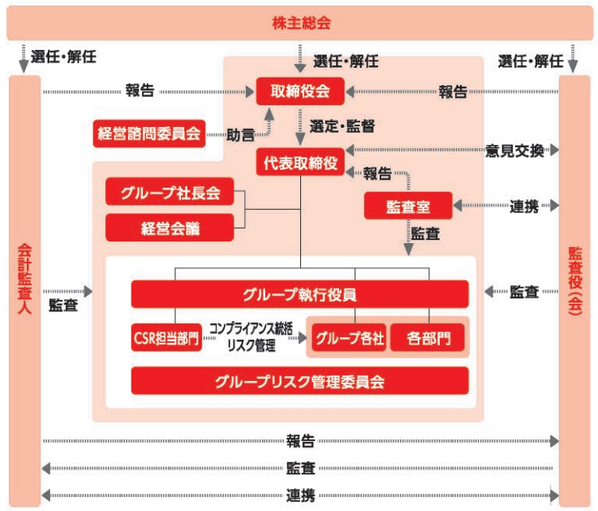
HAPPY ACTION 1 コーポレート・ガバナンス

コカ･コーラウエストグループのコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、経営の効率性・透明性を向上させ、「株主価値」の増大に努めることです。
当社のコーポレート・ガバナンスの主な特徴および体制図は、以下のとおりです。

【主な特徴】
・監査役(会)設置
・取締役の任期短縮（1年）
・経営諮問委員会※設置
・グループ執行役員制度導入

※外部の有識経験者から適切なアドバイスを受けるための取締役会の諮問機関

●コーポレート・ガバナンス体制図



ACTION! お客さまから信頼される企業でありたい



お客さまにハッピーをお届けするためには、お客さまから信頼される健全な企業でなければなりません。私は、健全な風土や環境づくりに向けて、凡事と基本の徹底ができる社員を育てるために、特に『ビジネスマナー』と所内と車両の『5S※』についてメンバーに指導しています。これからも健全な風土づくりを通してお客さまから信頼いただける会社を目指してまいります。

コカ･コーラウエストベンディング（株）
佐世保営業所 所長 古舘 一彦

※5S：職場の管理上徹底されるべき「整理・整頓・清潔・清掃・しつけ」を表現した言葉の総称。

HAPPY ACTION 2 コンプライアンス教育・啓発活動

コカ･コーラウエストグループでは、新入社員研修や所属長研修等の各種研修でコンプライアンス教育を実施しています。2011年は管理職を対象とした法令学習や身近な事例を活用した各職場での「コンプライアンスKYT（危険予知トレーニング）」を実施しました。

活動事例

法令学習について

業務に関連する法令を中心に社内イントラネットを活用した学習を実施しました。学習を通して、管理職として必要な知識の習得と法令遵守の意識向上をはかっています。

【対象】
コカ･コーラウエストグループ全管理職
【学習テーマ】
第1回：食品衛生法、道路交通法・・・受講率：94.8%
第2回：労働基準法、環境関連法令（循環型社会形成推進基本法、廃棄物処理法）、景品表示法・・・受講率：97.5%
第3回：労働安全衛生法、インサイダー取引・・・受講率：97.7%

HAPPY ACTION 3 「購買の基本原則」に則った調達活動の推進

コカ･コーラウエストグループでは、調達業務を行うにあたっての基本姿勢・活動指針、守るべきルール等を明文化した「購買の基本原則」を制定し、公正で透明性の高い調達活動を推進しています。
また、原材料の調達については、ザ コカ・コーラカンパニーにより認定されたサプライヤー（原材料の供給元）から行うことで、コカ・コーラ社商品の世界的に統一された高い品質の保持に努めています。

コカ･コーラウエストグループ購買基本方針

❶**公正かつ透明性の高い購買取引**
購買取引を行うにあたっては、登録されたお取引先に対して平等な機会を提供し、公正にこれを取り扱います。お取引先の選定は、品質・価格・納期・安定供給力・信頼性の観点から、公正に行います。

❷**経済合理性（適正な品質・数量・価格・納期）に基づく購買取引**
購買取引を行うにあたっては、経営活動に必要な物品・役務等の購買品を必要とする所属と購買を担当する所属の権限と責任のもと、適正な品質・数量・価格・納期等の観点から決定し行います。

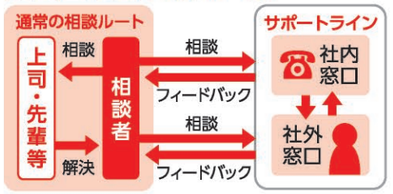
❸**関係法規の遵守と機密保持**
購買取引を行うにあたっては、関係する諸法規を遵守します。お取引先から得た情報は、厳守事項として慎重に管理し、お取引先の承諾がないまま第三者へは開示しません。

❹**環境への配慮**
責任ある企業市民として、環境保全に配慮した購買取引を推進していきます。

HAPPY ACTION 4 内部通報制度

コカ･コーラウエストグループでは、健全な会社づくりを行うために、「コカ･コーラウエストグループ コンプライアンスサポートライン」を設置しています。
この制度は、社内におけるコンプライアンスに反する行為について、会社として速やかに認識し、是正するとともに、「あたり前のことをあたり前に」実践できる組織風土を醸成し、健全な会社づくりを行うための制度です。
社内報や社内イントラネットを活用して、サポートライン制度の概要や仕組み、利用方法を説明し、利用の促進に努めています。

●サポートラインのフロー図



重点項目❹

リスク管理

**会社が抱えるさまざまなリスクに対して、
発生を予防するとともに、万一発生した場合に、
被害を最小化するための行動が
迅速・的確にとれるリスクに強い会社を目指しています。**



ACTION! 迅速、適確な対応に努めます



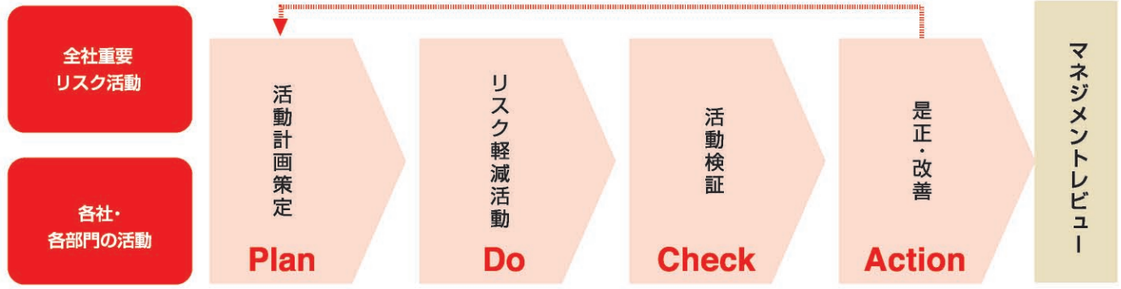
お客さまにハッピーをお届けするためには、万一のときにお客さまにご迷惑をおかけしないように、迅速・適切に対応することが大切になります。
今回、危機発生時のシミュレーション訓練に参加して、初期対応の重要性を学び、万一に備える意識が醸成されました。学んだことを生かして、リスクの発生防止や発生時の対応に取り組んでまいります。

コカ・コーラウエストプロダクツ(株)
京都工場 製造二課 藤塚 一希

HAPPY ACTION 1 リスク予防マネジメント活動

発生すると経営に大きなダメージを与えるリスクの発生を未然に防ぐためにリスク予防マネジメント活動に取り組んでいます。
コカ・コーラウエストの各部門およびグループ各社ごとに、リスクの洗い出しを行い、活動計画の策定・リスク軽減活動を実施しています。

●リスク予防マネジメント 全体フロー図



HAPPY ACTION 2 内部統制への取り組み

内部統制システムの方針と体制

コカ・コーラウエストグループでは、業務の適正を確保するための体制として「内部統制基本方針※」を策定し、これに基づきグループ内の内部統制の状況について定期的に取締役会にて報告を行っています。
また当該基本方針について、経営環境の変化等に対応し、2012年2月7日開催の取締役会決議により改訂を行っています。

※コカ・コーラウエストホームページ内
(http://www.ccwest.co.jp/company/governance.php)
「コーポレートガバナンス報告書」に記載

内部統制報告制度(J-SOX)への対応

コカ・コーラウエストグループでは、金融商品取引法に定められた「内部統制報告制度(J-SOX)」に対応し、社内の主な業務プロセスの文書化や業務運用状況の評価等、財務報告の信頼性向上に向けた活動を推進しています。
2011年度の活動として、2012年2月現在で社内および外部監査人による期末時点の内部統制の評価を実施しており、3月に有価証券報告書とともに内部統制報告書を金融庁に提出しています。

HAPPY ACTION 3 情報保護活動

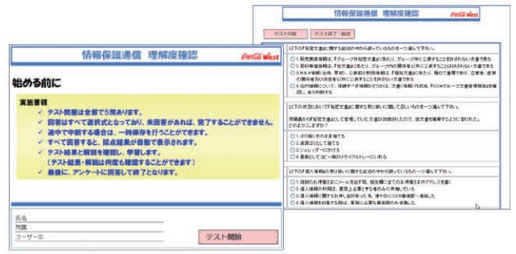
情報保護活動の位置づけ

コカ・コーラウエストグループでは、リスク予防マネジメント活動の一環として情報保護活動に取り組んでいます。また、取り組むにあたって、情報保護に関するポリシーや規定、標準類(情報マネジメント標準、情報取扱い標準)を整備し、内部統制(J-SOX)や、コカ・コーラシステムのセキュリティフレームとの整合性を図り推進しています。



情報保護活動の取り組み

個人情報を含む情報資産を、さまざまな脅威から保護し、安全な情報活用がなされるように情報保護に関する規定を策定・運用しています。それらを周知徹底するために、集合教育、社内イントラネットを活用した教育・啓発、社内手帳への掲載、理解度確認を実施し、グループ社員への浸透・レベルの向上を図っています。
また、インフラ面でもパソコン及び外部媒体(USBメモリ 等)のデータ暗号化、パスワード設定等の情報漏洩対策強化を推進しています。



社内イントラネットによる教育・啓発

HAPPY ACTION 4 危機発生時の取り組み

コカ・コーラウエストグループでは、危機が発生した場合に、社会や経営への影響を最小限にとどめるため、グループ組織運営体制に沿って「危機発生時体制」を構築するとともに、どのように対応すべきかをまとめた「危機発生時対応マニュアル」を作成しています。
また、役員や部門長以上を対象とした講習会、緊急連絡対応訓練、製造工場での品質事故を想定したシミュレーション訓練等、危機発生時の対応力向上と意識啓発を図っています。

活動事例

品質事故を想定したシミュレーション訓練



危機に対する初期対応・状況分析の重要性を学ぶために、製造工場を対象としたシミュレーション訓練を実施しました。
品質事故を想定して、設定された短い時間の中でどのような対応をすべきかをディスカッション形式で検討し、危機発生時に必要な対応を学んでいます。

重点項目❺

人権尊重と社員の働きがい

コカ・コーラウエストグループの発展を支える社員がやりがいと働きがいをもって、いきいきと働ける会社づくりを進めています。



HAPPY ACTION 1 働きやすい職場づくり

「子育てサポート企業」（厚生労働省認定）

コカ・コーラウエスト（株）は、前期行動計画において男性の育児参加促進等の取り組みが評価され、次世代育成支援対策推進法に基づく「子育て支援に積極的に取り組む企業」として、厚生労働省より認定を受けました。また、2011年4月～2015年3月を計画期間とした「コカ・コーラウエストグループ第三期次世代育成支援行動計画」を策定し、継続して取り組んでいます。

コカ・コーラウエストグループ 第三期次世代育成支援行動計画

計画期間 2011年4月1日～2015年3月31日（4年間）

計画内容 ①仕事とプライベートの充実を図るための取り組みを推進します。
②社内制度および活用事例を周知します。

社員の育児・介護を支援します

コカ・コーラウエストグループでは、社員のワークライフバランス（仕事と生活の調和）を支援しています。育児・介護とも法定を超えた制度を導入しており、また、2011年9月には、社内イントラネットにて育児・介護支援に関する情報を閲覧できる「仕事と生活の両立支援サイト」をオープンしました。



2011年度育児休業・介護休業取得者数

	男性	女性	計
育児休業	0	30	30
介護休業	2	0	2
計	2	30	32

HAPPY VOICE 社員

仕事と育児の両立で毎日が充実しています

私は、2010年に長男を出産し、1年間育児休業を取得しました。復職前は、“子どもが病気をしたら・・・”“時間内に仕事をこなせるか・・・”と不安でいっぱいでしたが、理解ある上司や先輩、同僚に支えられ、リズムを整えることができました。子どもはまだまだ熱を出すことも多いですが、職場や家族のサポートで乗り切っています。仕事と育児の両立は大変ですが、忙しいながらも充実しています。育児支援制度が整った会社、いつもフォローしてくださる上司と職場の皆さんに感謝しています。



コカ・コーラウエスト（株）
関西営業本部
チェーンストア営業部
荒巻 麻衣子

ACTION! 社員がいきいきと働ける会社にしたい



全ての社員が最大限の能力を発揮し、組織として高い成果を出すためには、社員一人ひとりが心身ともに健康であり、仕事以外の時間も含めた生活がハッピーであることが必要不可欠です。制度の充実はもちろんですが、制度内容をわかりやすく伝え、取得しやすい職場風土を醸成していくことも私たち人事部門の役割だと考え、情報発信や意識啓発に力を入れています。

コカ・コーラウエスト（株）
人事部 岡崎 法子

HAPPY ACTION 2 人権教育

コカ・コーラウエストグループでは人権問題を自らの課題として受け止め、他人を思いやり、常に相手の立場に立った行動ができる社員の育成と活力ある健全な職場環境づくりを目指しています。そこで、さまざまな人権問題（同和問題やハラスメント等）への取り組みとして、経営層に向けた人権啓発講習会や階層別研修を実施しています。
2011年は職場研修に重点を置いた取り組みを行うとともに、新たな取り組みとして「現地体験型研修」を実施しました。また、社内イントラネットや社内報で人権に関する情報を発信し、グループ社員の人権意識の向上を図りました。



大阪人権博物館での研修

HAPPY ACTION 3 社内公募

新規事業（レギュラーコーヒー事業）の担当スタッフをグループの社員から広く公募し、たくさんの社員から応募をいただきました。今後も社員が主体的にチャレンジできる機会を創造することで、『チャレンジし、成長しようとする個人の能力開発と発揮の機会を会社は提供します』という人事マネジメントの基本方針の実現に繋げていきます。

HAPPY VOICE 社員

社内公募は 自己成長のチャンス

コカ・コーラウエスト（株）
営業統括本部
レギュラーコーヒー事業担当 澤本 将

私は「平等に与えられた機会を活かし会社の発展に貢献したい」と思い応募しました。現在は以前から興味を抱いていた業務に就けて毎日が大変充実しています。このような成長の機会を与えていただいた今回の取り組みに大変感謝しています。



活動事例 社員の働きがい調査について

コカ・コーラウエストグループでは、社員の働きがいに対する意識や現状を把握するために、全社員を対象に調査を行いました。調査結果は今後の改善活動に結びつけるとともに、調査結果を指標とした「社員満足度」を会社の成長目標として設定し、重要な経営課題の一つとして取り組んでいます。

重点項目❻

地域社会との共生
(地域社会貢献活動)

**「地域とともに」の基本姿勢のもと、
地域社会貢献活動を通じて地域の発展や
青少年の健全育成を支援し、
豊かな社会の実現を目指しています。**



ACTION! 子どもたちの胸に刻まれるような活動を心がけて



私たちホッケー部は、「ホッケー教室」を通じてたくさんの子どもたちと接しています。
未経験の子どもたちにはまず楽しさを実感して好きになってもらえるように、経験者の子どもたちにはトップレベルの知識や技術を伝えようと、密に接することを心がけて活動しています。
「楽しかった」「今後もホッケーやりたい」、子どもたちがハッピーと感じたその瞬間がうれしく、次への活動意欲となっています。

コカ・コーラウエスト(株) 厚生部 広島駐在
コカ・コーラウエストレッドスパークス ホッケー部 主務　古賀 明子

HAPPY ACTION 1 文化・教育活動支援

クラシックコンサート

豊かな社会(心豊かな人材育成)づくりに貢献するため、1989年から地域の皆さまに質の高い本格的なクラシック音楽「コカ・コーラウエスト クラシックコンサート」を開催しています。
2011年は、福岡での「ウイーン・リング・アンサンブル・ニューイヤーコンサート」、大阪での「フランツ・リスト室内管弦楽団&幸田浩子(ソプラノ)」を開催、地域のお客さまを無料ご招待し、素晴らしい音色を堪能していただきました。



ファミリーミュージカル

『親子の絆を育む』活動として、2000年から夏休み期間中に親子で楽しめる「コカ・コーラウエスト ファミリーミュージカル」を開催しています。
2011年は、福岡・広島・大阪の3ヵ所で、25年近くも読みつがれている児童書のロングセラーを原作とした不思議なネコとの知恵・勇気・友情の物語「ルドルフとイッパイアッテナ」を開催、地域のお客さまを無料ご招待して、夏休みの楽しいご家族のひと時を提供いたしました。



市村自然塾九州

『市村自然塾九州』では、「生きる力を大地から」を基本理念に子どもたちの健全な育成と成長を願い、2003年の開塾から支援しています。農作物の栽培や共同生活を通じて「人として守るべきルールを身につけ"主体性・創造性等の資質"を育む」機会を子どもたちに提供しています。近年では、PTAや教育関係者の皆さまからも注目いただいています。



HAPPY VOICE 保護者

親子ともに学び多き 市村自然塾九州に感謝



福岡教育大学附属 福岡小学校 4年　鬼木 健伍くん
鬼木 貴理子さま

四季折々の草花や生き物に出会える河内の自然、作った野菜や米をいただく喜び、仲間との時間。自然塾での生活でさまざまな達成感を味わい、身体も心も充実感で満たされた息子。人間的にも大きくなり輝きを増しています。また、その姿に喜び・学んでいる私もいます。親子で成長できた素晴らしい時間でした。

HAPPY ACTION 2 スポーツ活動支援

小学校への一輪車贈呈

次世代を担う子どもたちがスポーツを通じて、協調性や忍耐力を養い、健全に成長することを願い、1994年から公立小学校に一輪車を贈呈しています。一輪車は身のこなしを良くし、神経系統の発達に有効な運動器具として評価が高く、児童が自主的に興味を持ち取り組める教材として、文部科学省が定める学習指導要綱に採用されています。
2011年は、事業エリア内の公立小学校100校へ、合計1,000台の一輪車を贈呈いたしました。



一輪車指導者研修会を支援

実際に指導される教員の皆さまに一輪車の乗り方はもちろんのこと、楽しさや難しさを体験し、子どもたちと一緒に乗れるようになっていただくために、公益社団法人日本一輪車協会主催の「一輪車指導者研修会」に協賛しています。



HAPPY ACTION 3 社会福祉支援

特別支援学校への教材贈呈

心身に障がいをもつ子どもたちが将来、社会自立をするための一助となれるように、1993年から特別支援学校に情報関連機器(パソコン・周辺機器)を教材として贈呈しています。
2011年は、事業エリア内14府県の特別支援学校14校へ贈呈いたしました。



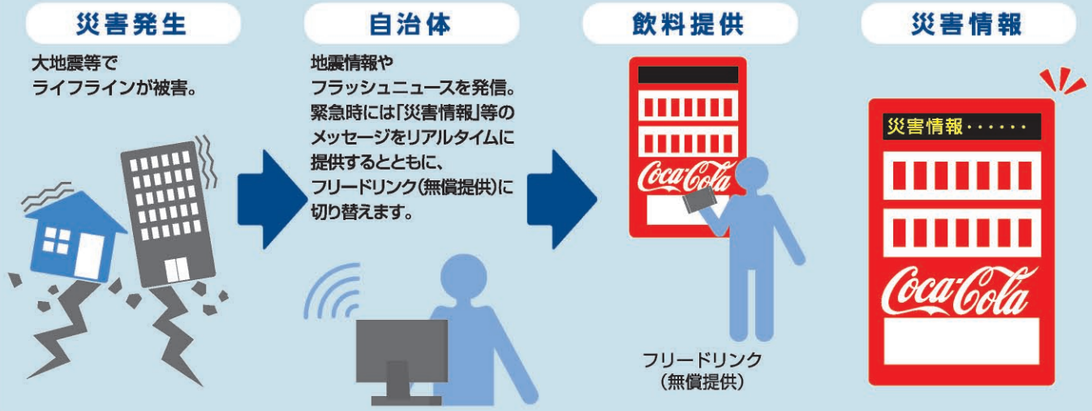
HAPPY ACTION 4 自動販売機を通じた地域支援

災害対応型自動販売機

災害対応型自動販売機は、大地震等でライフラインが被害を受けた場合、清涼飲料水を無償で提供できる自動販売機です。また、メッセージボード付災害対応型自動販売機では、災害時の避難場所、地図情報をリアルタイムに確認できます。
2011年12月末時点で累計266台を設置し、地域の皆さまの安心・安全な暮らしに貢献しています。



災害対応型自動販売機による地域支援活動の仕組み



メッセージボード付災害対応型自動販売機の機能

通 常 時

●「地域情報」メッセージ表示
行政からのお知らせやイベント案内等を表示し、掲示板として活用が可能

●時事通信社からのニュース配信
時事通信社の速報ニュースを表示し、リアルタイムなニュースを提供

緊 急 時

●「災害情報」メッセージ表示
避難場所や被害状況をリアルタイムにメッセージとして配信

●「無償提供」設定
パソコンからの遠隔操作により、自動販売機内の商品を無償提供

HAPPY ACTION 5 スポーツを通じた地域社会貢献活動

カンパニースポーツクラブであるラグビー部とホッケー部(チーム名:レッドスパークス)は、多くのファンの皆さまや地域の方々から愛されるチームを目指し、さまざまな活動を行っています。試合を通じて皆さまに『感動とさわやかさ』をお届けすることはもちろん、ラグビー・ホッケー競技の普及や青少年の育成等、地域社会貢献活動を積極的に行っています。

コカ・コーラウエスト レッドスパークス ラグビー部

創 部 1966年(昭和41年)
拠 点 福岡市
戦 績 ジャパンラグビー トップリーグ(全14チーム)
2009年 8位
2010年 10位
2011年 14位



コカ・コーラウエスト レッドスパークス ホッケー部

創 部 1996年(平成8年)
拠 点 広島市
戦 績 ホッケー日本リーグ(全8チーム:女子)
2009年 準優勝
2010年 準優勝
2011年 優勝(初)



コカ・コーラウエストレッドスパークスの地域社会貢献活動

❶地域イベント参加

地域の活性化に貢献するために、さまざまなイベントに参加しています。





【2011年の主な活動】
・博多どんたく港まつり
・ひろしまフラワーフェスティバル
・ひろしま国際平和マラソン
・キャナルシティ博多 年末チャリティ餅つき 等

❷講演・講話

監督や選手の経験を織り交ぜた講話で、スポーツを通じた結束力や協調性、夢を持つことの大切さを伝えています。





【2011年の主な活動】
・小学校、中学校、中学校長会、指導者会 等 計8件

❸クリニック活動

幼児から大学生まで幅広い年齢層にわたり、ラグビーやホッケーの技術的指導を実施しています。また、生徒だけではなく指導者も交えてのクリニックを実践することで、競技の安全性や基本の大切さを伝えています。







【2011年の主な活動】
・ラグビークリニック 8件
・ホッケークリニック 10件

❹普及活動

ラグビーやホッケーが未体験の方々を対象に、それぞれの競技をより安全にルール化した「タグラグビー」や「ユニホッケー」の教室を行っています。ひとつのボールを仲間と追いかけ、運び、守り、得点することを体験してもらうことで、スポーツ本来の楽しさはもちろん、仲間との絆やコミュニケーションの大切さを伝えています。





【2011年の主な活動】
・タグラグビー教室 6件
・ユニホッケー教室 2件

※ タグラグビー:腰につけたタグをとることが「タックル」のかわりです。タグを取られないように味方とボールをつなぎながら、トライを目指す安全なスポーツです。

※ ユニホッケー:体育館等の室内で小さなゴールにシュートを決めて楽しむスポーツです。スティックやボールはプラスティック製で柔らかくできており、安全性が高く、スピードが出ないようになっています。

HAPPY ACTION 6

地域環境推進活動

「さわやか自然の森」森林保全活動

かけがえのない水を育む森林の水源涵養を目的に、全工場の近郊に位置する自治体との共同管理契約林「さわやか自然の森」で、2006年より森林の保全活動を継続しています。2011年は京都府・兵庫県・鳥取県・広島県・佐賀県の5ヵ所で社員とその家族・地域の方々等約200名が参加し、枝打ちや除伐、遊歩道づくり、クラフト制作等を行いました。



とす さわやか自然の森
●佐賀県鳥栖市立石町の森林
●面積：17ha



とっとり さわやか自然の森
●鳥取県西伯郡伯耆町金屋谷の森林
●面積：5ha



きょうと さわやか自然の森
●京都府綴喜郡宇治田原町御林山の森林
●面積：12ha



ひょうご さわやか自然の森
●兵庫県小野市黍田町高山の森林
●面積：10ha

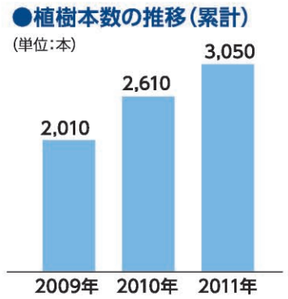


ひろしま さわやか自然の森
●広島県三原市本郷町北方財産区内の森林
●面積：7ha

植林活動支援

地域への環境教育支援の一環として、「どんぐりの森をつくろう」植林活動を開催しています。植樹を通じて地域の方々や子どもたちに自然環境保護の大切さを感じてもらうとともに、温室効果ガスの吸収を増やすことで地球温暖化防止につながる活動であると考えています。2011年は地域の植生に合わせコナラ、アラカシ等440本の広葉樹を新たに植樹しました。

●植樹本数の推移（累計）





夏休み環境体験学習

次世代を担う子どもたちに自然の豊かさや素晴らしさを伝え、実際に体験してもらうことを目的に「夏休み環境体験学習」を開催しています。2011年は福岡県、佐賀県の小学生30名が佐賀県の「市村自然塾九州」および「コカ・コーラウエスト鳥栖市民の森」で、京都府の小学生30名が「京都府立丹後海と星の見える丘公園」で夏休み期間中の1泊2日プログラムに参加しました。プログラムでは、専門インストラクターの指導のもと、地球の歴史から生物の進化のことを学び、生物と森との関わり合いや森林が持つ保水機能の大切さについて理解を深めました。





大山“水の環境教室”

かけがえのない水を利用する企業として、子どもたちに大自然の中で森林が育む水や地球環境について理解し、考えてもらうことを目的に開催しています。今回は、中国山地最高峰である大山やそのふもとに位置する水の専用工場である大山工場を活動場所として、関西、中国、九州地方の小学生90名が参加しました。子どもたちは、ナチュラルミネラルウォーター「い·ろ·は·す」が製造されるまでの様子や、大山の自然·歴史·文化を紹介している施設の見学により、普段、感じることができない貴重な体験を行いました。





地域美化活動

地域の方々と直接交流できるコミュニケーションの場として、各事業所が所在する自治体主催の清掃活動に積極的に参加しています。2011年は事業エリア内7ヵ所で約650名の社員とその家族が参加し、地域の美化に貢献しました。今後も継続的に活動に参加し、地域社会への貢献に努めていきます。





重点項目❼

環境推進

**環境経営の推進に向けて
環境マネジメントシステムを効果的に運用し、
環境負荷の低減、関係法令の順守等、
継続的な改善に取り組んでいます。**



コカ・コーラウエストグループ 環境方針
『人も環境も、さわやかに。』

[基本方針]

コカ・コーラウエストグループは、
地球環境保全を最重要課題のひとつと認識し、
飲料を通じて、ステークホルダーにハッピーで
いきいきとしたライフスタイルを提供する企業として、
持続可能な社会の発展に貢献します。
社員一人ひとりと会社が一体となった取り組みにより、
環境保全活動を継続的に推進します。

[行動指針]

- 事業活動のさまざまな場面で環境に配慮し、環境リスクへの予防手段を優先します。
- 日常業務の中で、環境負荷削減を目標とするシステムを運用し、その継続的な改善に努めます。
- 水の有効活用、エネルギー使用の効率化、廃棄物の削減・リサイクルを推進します。
- 適用される法規制、協定、必要に応じて設定する自主基準等を順守します。
- 地域社会に貢献し、次世代に成果の残る活動を展開します。
- 社員への環境教育を実施し、環境保全意識の向上に取り組みます。
- ステークホルダーとのコミュニケーションを推進し、良き企業市民として行動します。

改訂：2011年1月1日

HAPPY ACTION 1 環境マネジメント

コカ・コーラウエストグループでは、環境との調和を目指しグループ一体となって環境経営を推進しています。グループ各社で環境管理の国際規格であるISO14001の認証取得を行い、環境マネジメントシステムの効果的な運用を行っています。さらに、コカ・コーラシステムが独自に定めた世界共通のマネジメントシステム「KORE※（コア）」の運用を推進し、マネジメントの強化を図っています。
今後も、さらなる成長と環境保全の両立のために継続的な改善を推進していきます。 ※KORE…P11参照

●環境マネジメントシステム



ISO14001認証範囲一覧

取得会社名	取得年月
コカ・コーラウエスト（株） コカ・コーラウエストベンディング（株） 西日本ビバレッジ（株）※ コカ・コーラウエストリテールサービス（株）※ （株）カディアック コカ・コーラウエスト販売機器サービス（株）※ コカ・コーラウエストサービス（株）	2009年12月 統合認証取得 ※2010年12月に認証範囲に統合・追加
コカ・コーラウエストロジスティクス（株）	2008年 1月
コカ・コーラウエストプロダクツ（株） 京都工場 明石工場 本郷工場 鳥栖工場 基山工場	 2000年 1月 2008年11月 1999年 6月 1999年11月 1999年11月
コカ・コーラウエスト大山プロダクツ（株） 大山工場	 2007年12月

ACTION! 次なる環境目標の達成を目指して



私たちの地球をハッピーにするため、飲料ビジネスを展開するコカ・コーラウエストグループでは、水資源の保全、地球温暖化対策、廃棄物削減・リサイクルを重要テーマに掲げ、持続可能な社会の発展に貢献できるよう取り組みを行っています。会社としてはもちろん、社員一人ひとりが常に環境への意識を持って行動できるように、今後も目標達成に向けて環境改善活動を更に推進してまいります。

コカ・コーラウエスト（株）
環境・広報部 三原 晋平

HAPPY ACTION 2 内部監査・外部審査結果

2011年は、コカ・コーラウエスト（株）で20部門、38拠点に対する内部監査を実施しました。監査の結果、環境関連法規制の順守評価、廃棄物保管場所の管理等、コンプライアンスに関する改善事項を含む66件の指摘がありました。これらの指摘内容は、全社的な改善のために全部門、全拠点に水平展開しています。なお、内部監査、外部審査の結果、行政からの指導等を伴うような重大な環境法規制違反はありませんでした。



ISO14001 マネジメントシステム登録証、付属書

HAPPY ACTION 3 社内環境教育

グループ社員を対象にコカ・コーラウエストグループの環境への取り組みを理解し、主体的に行動できるよう、社内研修、社内報・社内イントラネットを通じて全社員の環境意識の浸透を図っています。2011年は、地球環境問題全般ならびにそれぞれの業務が環境に及ぼす影響を理解してもらうことを目的に全社員向けに環境ハンドブックを作成し、環境教育ツールとして活用しています。



環境ハンドブック

HAPPY ACTION 4 2011年の環境目標と実績・2012年の目標

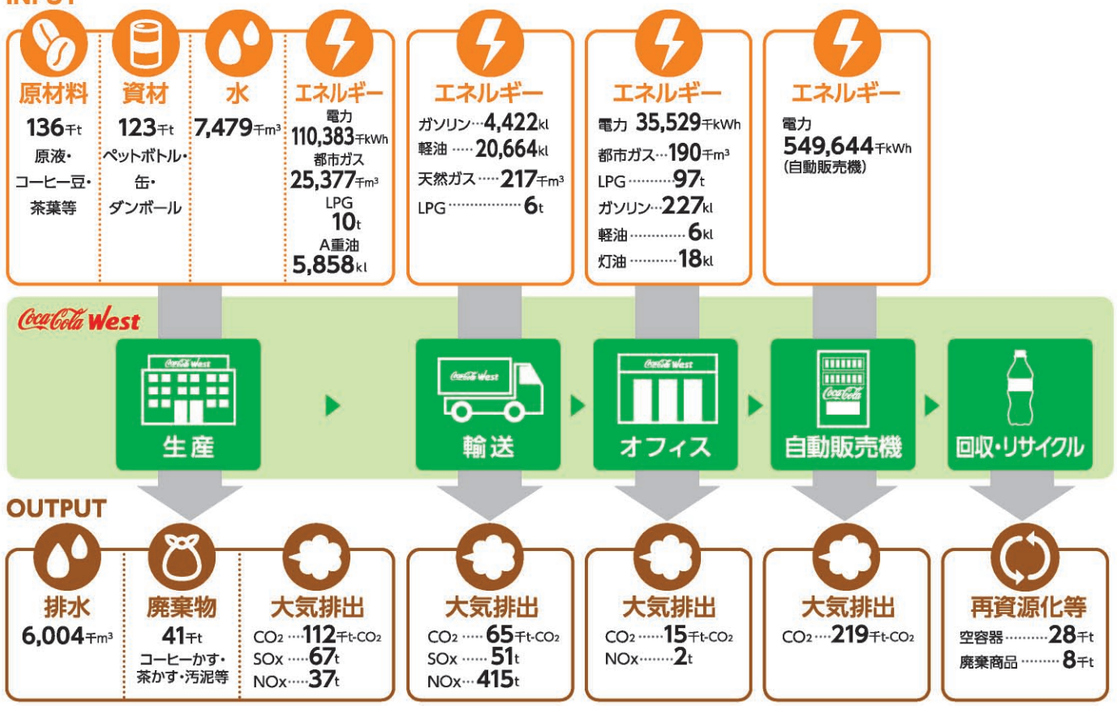
コカ・コーラウエストグループでは環境の主要取組テーマにおける目標とその達成状況を把握することにより、計画的かつ継続的に環境負荷の低減を推進しています。

テーマ	取組内容	2011年目標	2011年実績	評価	2012年目標
温室効果ガス（CO_2）排出量の削減	生産・輸送・自動販売機・オフィスでの削減	2004年比23%削減	2004年比25%削減	達成	2004年比25%削減
廃棄物のリサイクル	空容器の自社リサイクル推進	リサイクル量5,000t以上	4,548t	未達	リサイクル量4,500t以上
	廃棄自動販売機の自社リサイクル推進	リサイクル量10,300台以上	10,746台	達成	リサイクル量12,000台
	工場廃棄物のリサイクル推進	リサイクル率99%以上	99.994%	達成	リサイクル率99%以上
水資源の保全	「さわやか自然の森」森林保全活動	参加人数360人	212人	未達	実施回数11回 参加人数330人
	ウォータースチュワードシップ（水資源保護）活動の推進	京都・明石工場の源水保護計画策定	策定・承認完了	達成	本郷・鳥栖・基山工場の源水保護計画策定
地域環境推進活動	水の環境教室開催	参加人数90人	90人	達成	実施回数3回 参加人数90人
	地域美化活動	参加人数530人	642人	達成	実施回数25回 参加人数1,250人

HAPPY ACTION 5 事業活動に伴う環境負荷量について

生産から回収・リサイクルまで、商品のライフサイクルを通じて発生する環境負荷を把握し、事業活動全体での環境負荷の低減に努めています。
2011年の事業活動に伴う環境負荷量は以下の通りでした。マテリアルフローの中では自動販売機の使用によるCO_2排出量が最も多く、全体の約5割を占めています。
生産に伴う水使用量は約8百万㎥、排水量は約6百万㎥となり、廃棄物排出量は41千tでした。販売後に回収した空容器の再資源化量は28千tでした。

環境負荷量(2011年)



●化学物質については、「特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法)の対象物質の届出要件に該当するものはありませんでした。

環境負荷指標算定基準

	環境負荷指標		単位	算定方法
インプット	原材料投入量		千t	生産活動に伴う原液・コーヒー豆・茶葉などの年間投入量
	資材投入量		千t	生産活動に伴う梱包資材の年間投入量
	取水量		千㎥	生産活動に伴う上水・井水・工業用水年間使用量
アウトプット	温室効果ガス(CO_2)排出量	燃料	千t-CO_2	各燃料年間使用量 × CO_2排出係数※ 主な燃料のCO_2排出係数 ●A重油:2.710t-CO_2/kl ●軽油:2.624t-CO_2/kl ●ガソリン:2.322t-CO_2/kl ●都市ガス:2.108t-CO_2/千㎥
		電力	千t-CO_2	年間購入電力量 × CO_2排出係数※ CO_2排出係数:2004年の地域の電力会社別係数 (ただし、中国エリアについては0.555kg-CO_2/kWh)
	廃棄物発生量		千t	生産活動に伴う廃棄物(有価物含む)
	空容器回収量		千t	実際の回収量から残渣を除いて再資源化された量

※燃料および電力のCO_2排出係数は、自らの削減努力を適切に表現できるよう、
コカ・コーラウエストグループ温室効果ガス削減計画策定時に採用した係数(基本的に2004年の係数)をすべての年に適用しています。

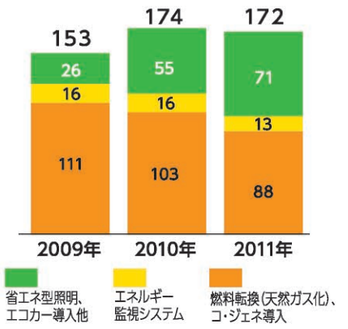
HAPPY ACTION 6 環境会計

コカ・コーラウエストグループの環境会計は、「環境マネジメント」「地球温暖化対策」「廃棄物管理・リサイクル」「水資源の管理」「地域環境推進活動」の5つの活動に区分し、環境保全コストと経済効果を把握し、効率的な環境経営の推進につなげています。
2011年実績の集計結果、投資額に関しては主に省エネルギーに関連する「地球温暖化対策」が約9割、費用額に関しては空容器リサイクルを中心とする「廃棄物管理・リサイクル」が約6割を占めました。

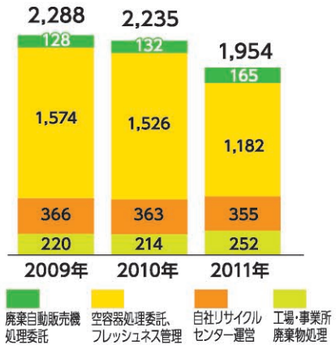
環境会計(2011年)

活動区分	環境保全コスト(百万円)		経済効果(百万円)
	投資額	費用額	
環境マネジメント	0	168	0
地球温暖化対策	64	172	278
廃棄物管理・リサイクル	4	1,954	373
水資源の管理	5	887	85
地域環境推進活動	0	243	0
合　計	73	3,424	736

地球温暖化対策
●費用額の推移(単位:百万円)



廃棄物管理・リサイクル
●費用額の推移(単位:百万円)



水資源の管理
●費用額の推移(単位:百万円)



環境会計指標算定基準

環境会計指標	単位	算定方法
環境保全コスト	百万円	【投資額】●環境保全に貢献する設備の財務会計上の投資額 【費用額】●環境保全に貢献する設備の財務会計上の減価償却費 ●環境保全に貢献する設備の維持運営費 ●環境保全に関わる人件費 ●環境保全に関わる諸経費 複合コストについて:原則的には差額集計とするが、差額が明瞭に判別できない場合は、按分集計、簡便集計を行う
経済効果	百万円	環境保全活動に伴う収入額・節減額

HAPPY ACTION 7

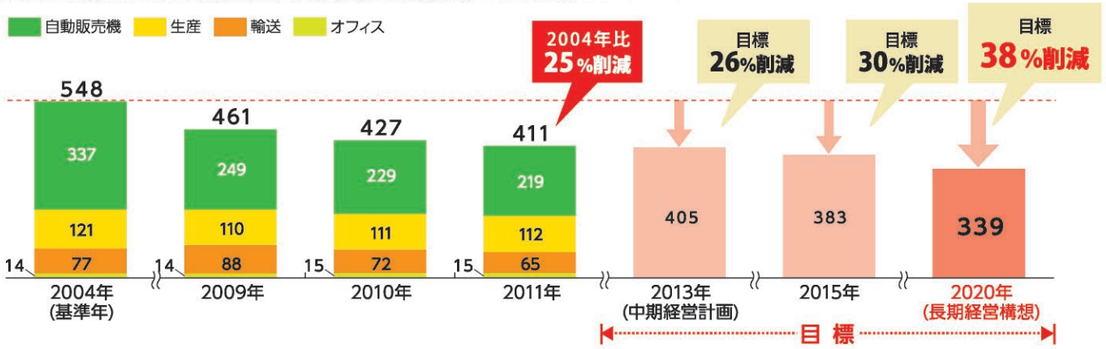
地球温暖化対策

住みよい地球環境を後世に受け継いでいくため、コカ･コーラウエストグループは、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

コカ･コーラウエストグループ 温室効果ガス削減計画

2020年の温室効果ガス削減目標に向けて、グループが一体となって活動を推進しています。
2011年のコカ･コーラウエストグループ全体の温室効果ガス排出量は、輸送部門、自動販売機部門での取り組みが進み、前年比4%減、基準年の2004年比では25%減の411千t - CO_2となりました。

●温室効果ガス(CO_2)排出量の実績推移と目標値(2004年比) (単位:千t-CO_2)



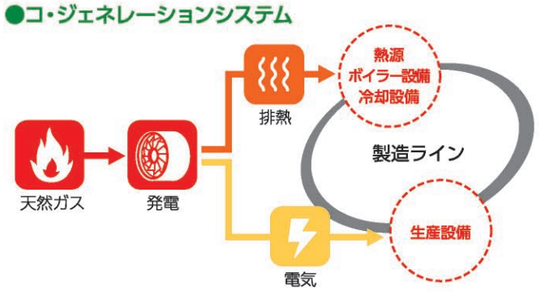
生産における取り組み

コカ･コーラウエストグループ6工場では、製造工程で発生する温室効果ガスの削減の取り組みとして、重油に比べCO_2排出の少ない天然ガスへの燃料転換や、コ・ジェネレーションシステム※の導入を行っています。
2011年の6工場全体のCO_2排出量は生産量の増加により前年比1%増となりましたが、基準年の2004年比では7%減の112千t - CO_2となりました。今後も引き続き温室効果ガスの削減に取り組んでいきます。


コ・ジェネレーションシステム


天然ガス化

●コ・ジェネレーションシステム



※コ・ジェネレーションシステム:ガスエンジン等で発電し、発電時の排熱で温水や蒸気を作り、電気と熱を同時に供給するシステム

温室効果ガス削減の取り組み

工場名	取組内容	導入開始年
京　都	天然ガス化	1998年
明　石	天然ガス化	1994年
本　郷	コ・ジェネレーションシステム導入 天然ガス化	2003年 2009年
鳥　栖	天然ガス化 コ・ジェネレーションシステム導入	2005年 2005年
基　山	天然ガス化	2006年

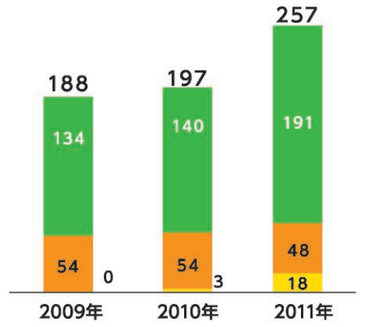
輸送における取り組み

工場間や倉庫間の輸送においては、車両の大型化による輸送の効率化やモーダルシフトの取り組みを積極的に行っています。また、アイドリングストップ、経済速度運行、減速時の早めのアクセルオフ等のエコドライブをグループ全社で徹底しています。また、運転状況の解析･チェックを行うため、配送車両に「セーフティーレコーダー」を搭載し、安全運転に努めるとともに燃費改善にも貢献しています。
さらに、CO_2を排出しない電気自動車の導入、配送の効率化、車両の小型化等を推進し、車両燃料の削減に努めています。


電気自動車


天然ガス車

●エコカー稼働台数の推移 (単位:台)



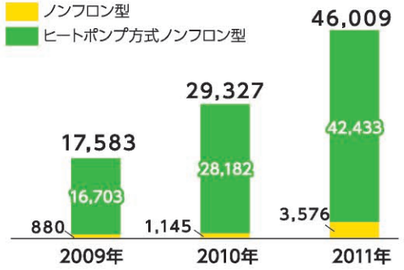
自動販売機における取り組み

温暖化への影響が低い自然冷媒を使用し、断熱性や廃熱利用効率を高めた「ヒートポンプ※方式ノンフロン型自動販売機」の導入に加え、太陽光パネルを搭載した「ソーラーパネル搭載型自動販売機」やLED照明の採用等、自動販売機の環境性能の向上に取り組んでいます。
2011年末には、環境配慮型自動販売機の累計導入台数は約45千台になり、地球温暖化防止に貢献しています。

※ヒートポンプ:加温時の電気ヒーターの代わりに冷却時に発生した熱を利用し、効率的に温める仕組み


3D VIS(スリーディー・ヴィアイエス)自動販売機

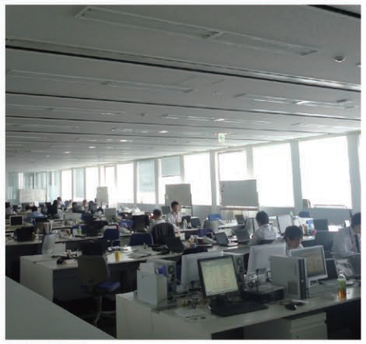
●環境配慮型自動販売機の設置台数推移



オフィスにおける取り組み

クールビズやウォームビズの推進、業務効率化による電力使用量の削減、省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)に基づくエネルギー使用量の把握等により、エネルギー使用の効率化を推進しています。
2011年は、コカ･コーラウエスト(株)の本社や工場事務所棟の照明をLEDに取り替え、本社の電気使用量は前年比10%減となり、エネルギー使用量の抑制に貢献しています。


LED照明


昼休みの消灯

HAPPY ACTION 8

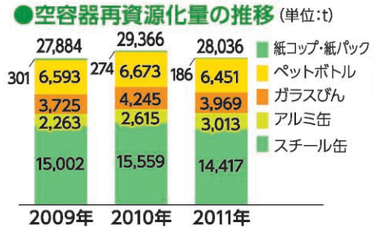
循環型社会の実現

事業活動に伴って排出される廃棄物のリサイクルを積極的に進め、資源の有効活用を促進することで、循環型社会の実現を目指していきます。

空容器リサイクル

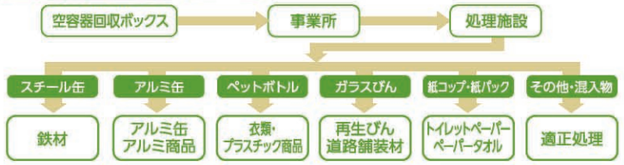
自動販売機横の回収ボックスに投入された空容器の回収・リサイクルを推進しています。2003年に北九州エコタウンにて稼働を開始した「北九州さわやかリサイクルセンター」（北九州市若松区響町）では、回収した空容器をスチール缶、アルミ缶、ペットボトル、ガラスびん等に分別し、効率的な再資源化に努めています。同センターでの2011年の再資源化量は約5千t、委託処理も含めたグループ全体では、約28千tになりました。
また、これまでのリサイクル活動が評価され2011年、「循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰」を受賞しました。

●空容器再資源化量の推移（単位：t）





●空容器リサイクルフロー図

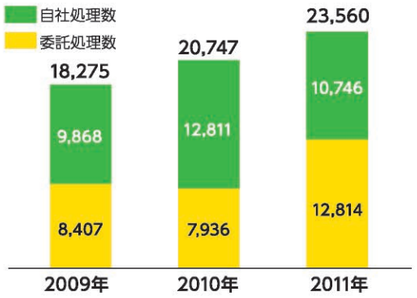


自動販売機リサイクル

老朽化等で廃棄処理となる自動販売機は全て再資源化しています。「北九州さわやかリサイクルセンター」内に2008年に建設した廃棄自動販売機リサイクルセンターでは、中国・北部九州エリアの8県で回収された廃棄自動販売機を素材ごとに解体・分別し、鉄鋼原料等の用途にリサイクルしています。また、オゾン層破壊や地球温暖化の原因にもなるフロンガスも大気放出させることなく適正に回収しています。同センターでの2011年のリサイクル処理台数は約11千台、また、委託処理も含めたグループ全体では、約23千台となりました。



●廃棄自動販売機のリサイクル台数（単位：台）



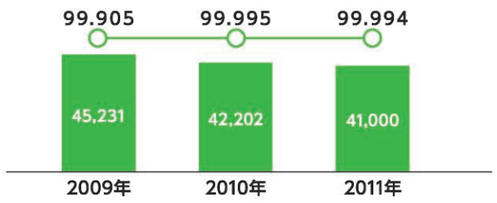
工場廃棄物リサイクル

生産活動に伴って発生する廃棄物の分別・リサイクルをすべての工場で推進し、継続してゼロエミッション（発生全廃棄物のリサイクル率99%以上）を達成しています。中でも、発生量の大部分を占めるコーヒーかす・茶かすは有機肥料や助燃材として100%の再資源化を継続しています。また、自社の品質基準に見合わなくなり市場から回収した商品については中身と容器に分け、それぞれ適正に処理・再資源化しています。

●工場廃棄物発生量とリサイクル率（単位：t）

種類	2011年		再生利用用途
	発生量	リサイクル率	
コーヒーかす	23,316	100.00%	有機肥料
茶かす	10,123	100.00%	
汚泥	4,881	100.00%	
廃プラスチック類	887	99.87%	再生プラスチック燃料
ガラス類	311	99.98%	再生カレット
金属類	334	99.80%	再生鋼材・アルミ缶
紙類	970	100.00%	段ボール・再生紙
廃油	12	98.95%	再生油
その他	166	99.83%	路盤材等
合計	41,000	99.994%	

●工場廃棄物発生量とリサイクル率の推移



特別報告

東日本大震災を受けて

東日本大震災により、被災された地域の皆さま、関係者の皆さまに心より
お見舞い申しあげるとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

コカ・コーラシステムの取り組み

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、東北・関東地方を中心とする広範囲にわたる地域に大きな被害をもたらしました。
コカ・コーラシステムでは、震災発生直後の対応として「義援金や飲料の提供等緊急支援」、「商品供給体制の確保」、「自動販売機による災害支援」等の緊急対応を行いました。
また、「コカ・コーラ復興支援基金」の活動を通じて現在も東日本大震災の復興支援を行っています。当基金は、公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団の理念に基づき教育施設をはじめとして被災した子どもたちの生活復興に必要とされる公共施設等に役立てることを目的としています。

2012年1月時点で決定している具体的な活動内容

- 文部科学省後援のもと岩手、宮城、福島3県の公立小中学校に防災対応機能を備えた太陽光発電および蓄電池の設置費用助成（3年間で50校を助成予定）
- 学校・公共施設等へのスポーツ機器、楽器、ベンチ、遊具等の提供を通じた県や市町村への直接支援
- 被災地域の中・高校生の米国留学支援

コカ・コーラウエストグループの取り組み

コカ・コーラウエストグループでも、コカ・コーラシステムとしての対応に加えて、「被災地への『森の水だより』2リットルペットボトル、1.5万ケースの提供」、「社内募金804万円のコカ・コーラ復興支援基金への寄付」等を行いました。また、全国的に電力供給不足が不安視された昨夏、地域ごとに使用電力削減に向けた節電対策を行いました。
コカ・コーラウエストグループでは環境負荷低減およびエネルギー総量の抑制に向けた取り組みを継続して実施しています。

取り組み内容

1. 自動販売機

- 輪番制による缶自動販売機の冷却機能の停止（関西・九州エリア）
  対象となる自動販売機を3～4グループに分けて、冷却機能を停止
- 自動販売機の消灯
  屋外自動販売機の蛍光灯昼間消灯
  屋内自動販売機の蛍光灯終日消灯

2. 建物・施設

- LED照明への取り替え（本社・千里丘オフィス）
- 空調機の温度設定／使用制限の実施

3. その他

- 定時退社日の設定（毎週金曜日） ※本社部門のみ
- ビジネスカジュアルの実施期間見直し（夏季のみから年間を通じて）
  ※ 空調の設定温度「冷房28℃以上／暖房20℃以下」を徹底

第三者コメント

コカ･コーラウエストグループ CSRレポート2012を読んで



九州大学ビジネススクール教授　永田 晃也氏

1959年生。
早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了。
文部科学省科学技術政策研究所総括主任研究官を経て、2010年より現職。
専門分野：イノベーション・マネジメント
主要著書：『知的財産マネジメント』
『価値創造システムとしての企業』

「CSRレポート2012」を前年度のレポートと読み比べると、いくつかの注目すべき進展がみられます。

ひとつは、コカ･コーラウエストグループにおけるCSRのコンセプトが、「４つの基本的な考え方」として明確に示されたことです。私は前年度のレポートに第三者コメントを寄せた際、その本業に深く立脚した社会貢献活動を高く評価させていただく一方、さまざまな業務プロセスの中にちりばめられた活動を、まとまりのある活動として方向づけるための基本コンセプトが構想されることを期待いたしました。「みんなの あしたに ハッピーを」というメッセージを中心に、その対象をお客さま、社員、地域社会、そして地球環境へと拡張するビジョンは、この期待に十分応えてくれるものでした。

もうひとつの進展は、前年度レポートで提示された6つの重点項目が、7つの重点項目として再定義された点に見出されます。そこでは、「お客さま満足」、「品質保証」、「コンプライアンス」、「リスク管理」、「環境推進」の5項目が前年度から承継されるとともに、「社員満足」が「人権尊重と社員の働きがい」という一層の社会的価値を意識した項目に発展させられ、「地域社会との共生」が新たな重点項目として加えられています。この新たな項目がにわかに追加されたものでないことは、前年度レポートの特集で「地域社会貢献活動」が大きく取り上げられていたことから分かります。そして、この活動が明示的に重点項目に組み込まれたことは、画期的な意義を有すると同時に、企業の社会的責任を果たす上での新たな課題の提起に結びついていくと思われます。

2008年7月にザ コカ･コーラ カンパニーのCEOに就任したムーター・ケント氏は、「ビジョン2020」という長期成長戦略を掲げ、同社の企業文化を再び若返らせたリーダーとして知られています。同氏は、「ハーバード・ビジネス・レビュー」誌2011年10月号のインタビュー記事の中で、コカ･コーラには、事業を展開している地域社会の持続可能性に貢献できなければ、持続可能な事業は実現できないという信念があるとして、その考え方をCSR活動に組み込むべきだと述べています。コカ･コーラウエストグループの新たな重点項目は、この方針を的確に具現化していると言えるでしょう。

一方、同氏はアメリカ市場での成長を支える要因として若年人口の増加を挙げ、アメリカに比してヨーロッパや日本では60歳以上人口の割合が顕著に高くなるという予測に懸念を表明しています。ここにCSR活動の新たな課題が示唆されていると見ることができます。すなわち、それは高齢化した地域社会の中にあっても、なお、その社会に若々しい成長の活力を与える活動に他なりません。これまでの地域貢献活動は、比較的若年層が積極的に参加しやすいスポーツやイベント等が中心であったようです。それが広く高齢層に届く方向に展開していくことを、今後の活動に寄せる期待といたします。

コカ･コーラができるまでを家族で学ぼう
マジカルエコラのファクトリーツアー

京都工場の「マジカルエコラのファクトリーツアー」は、ツアーガイド形式により、コカ･コーラ商品が完成するまでの工程を楽しみながら体験することができます。


エコラちゃん

1 WELCOME ZONE 〈ウェルカムゾーン〉
ウォータースクリーンがお客さまをお出迎え。コカ･コーラグッズの販売をしています。2Fモニターでは、エコラちゃんが皆さまをお出迎えしています。



2 STUDY ZONE 〈スタディゾーン〉
シアター
コカ･コーラ誕生の秘話から、現在皆さまに愛されているコカ･コーラの歴史を立体映像でお楽しみいただけます。

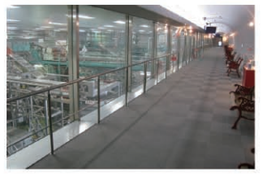


3 STUDY ZONE 〈スタディゾーン〉
タイムトンネル
宇宙船内をイメージしたトンネル。その中で、コカ･コーラの歴史を学習しましょう。





4 STUDY ZONE 〈スタディゾーン〉
ファクトリービュー
大きなコカ･コーラの缶に入って製造工程を見学できます。



5 CHALLENGE ZONE 〈チャレンジゾーン〉
ポップなアメリカの街並みには環境の家、社会貢献の家、地域風土の家、Qooの家、コカ･コーラミニミュージアム等いろんな家があります。



ツアーのお問い合わせ・お申込みは

京都工場エコラ館
TEL 0774-43-5522
住所　京都府久世郡久御山町田井新荒見128
受付　休館日以外の9:30～11:30　12:30～17:00
休館日　毎週月曜日（ただし、第一月曜日、祝日、振替休日除く）
年末年始、工場製造ライン運休日および臨時休館日
入場料　無料（グッズ販売、プリクラ、ボトル自動販売機は有料）
※予約人数：2～50名様　51名様以上の場合はご相談ください。

